

第6期

麻生区区民会議報告書

～心がかよう魅力あるまち あさお～



第6期麻生区区民会議報告書の刊行によせて

第6期麻生区区民会議（以下、区民会議という。）は、平成28年7月にスタートし、2年間にわたり活動してきました。ここにその活動経過、内容および提言を報告書としてお届けします。

区民会議は平成18年の第1期から始まり、第5期までの10年間で、数多くの麻生区の課題を取り上げ、調査審議を行い、提言をしてきました。

第6期では、一つの区切りとして、過去10年間検討してきた課題を検証し、「誰が」「何処で」という視点を大切にして、調査・審議を行いました。

その結果、区民の関心が強く、麻生区の現状と今後を踏まえて、特に重要と考えられる二つのテーマを審議課題に決めました。

ひとつは、「ふるさと麻生づくり～愛着と誇りの醸成～」であり、もうひとつは、「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」です。また、全体テーマを「心がかよう魅力あるまち あさお」としました。

そして、二つのテーマについて調査審議を行うため、「麻生区の魅力の発掘・発信検討部会」と「市民活動・絆づくり部会」の専門部会を立ち上げました。

麻生区の魅力の発掘・発信検討部会は、子育て世代へのヒアリング調査が必要と考え、平成29年9月16日に開催された「あさお子育てフェスタ」において調査を実施し、魅力の発信内容、媒体および発信方法等に関する資料を得て、提言の方向性を掴みました。

市民活動・絆づくり部会は、まだ地域活動に参加していない人にも、地域活動の担い手の一員であるという意識をもってもらいたいと考えました。そのためには、「市民活動団体の活動を知る、触れる機会があれば、興味・関心をもってもらえることができ、地域活動に参加してもらえないか」と考え、その契機となるキックオフイベントとして「第6期区民会議フォーラム」を開催しました。このイベントには300人を超える区民の皆さまにご来場いただき、そのアンケートの結果から、市民活動団体の活動内容を体験してもらうことが有効であることがわかりました。これをベースに提言の方向性を検討しました。

ただし、両部会の提案内容も「誰が」という視点からみると課題を残していると言えるかもしれません。なぜなら活動を実施するのは、組織でなく人だということを考えますと、地域において、「この指を出して汗をかく」ことをいとわない「地域コーディネーター」的な役割を担う人材をうみだすことが本質的な課題だと考えます。

区民会議は、第6期をもって休止ということになりましたが、今後も、地域課題の解決に向けては、区民と行政との協働の取組が重要であると考えます。

12年間にわたる区民の真剣な検討内容が反映され、区民の持っている力が生かされ、麻生区が「心がかよう魅力あるまち」になるというテーマが実現されることを期待して区民会議の報告とさせていただきます。



平成30年6月

第6期麻生区区民会議
委員長 植木 昌昭

【目次】

第1章	麻生区区民会議について	2
	1. 麻生区区民会議とは	
	2. 第1～5期区民会議の審議の流れ	
第2章	第6期区民会議について	6
	1. 審議課題の選定と審議の流れ	
	2. 会議の構成と役割	
第3章	各部会の審議と取組について	9
	1. 企画部会	
	2. 麻生区の魅力の発掘・発信検討部会	
	3. 市民活動・絆づくり部会	
第4章	区民会議フォーラム 親子で体感してみませんか。 ～麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう～	33
第5章	提言	36
	1. 「麻生区の魅力の発掘・発信検討部会」からの提言	
	2. 「市民活動・絆づくり部会」からの提言	
	3. 第6期区民会議を振り返って	
【資料編】		43
	第6期区民会議委員・参与名簿	
	第6期区民会議スケジュール	
	第6期区民会議関連資料	
	麻生区区民会議ニュース	
	地域情報紙掲載記事	

第1章 麻生区区民会議について

1. 麻生区区民会議とは

川崎市では、平成17年に「暮らしやすい地域社会をめざして区民が中心となって課題の解決を図るために調査審議をする会議」として、「川崎市自治基本条例」に基づき「区民会議」が設置されました。

区民会議は、この条例がめざしている「市民自治によるまちづくり」を進めるために平成18年4月から各区に設置され、麻生区でもこれまで6期（1期2年、12年間）にわたって活動してきました。

平成28年7月から始まった、今回の第6期区民会議では、麻生区内の課題を抽出し、どのように解決していくかを、委員全員が一丸となって審議を進めてきました。

また、全体のテーマとして「心がかよう魅力あるまち あさお」を掲げ、ヒアリング調査やフォーラムの実施など、机上の会議に留まらず、様々な実践的手法を取り入れ、区民や大学、関連業界等、多くの人の声を聴き、地域課題の解決策を検討し、提言につなげました。



■区民会議の提言までの流れ

**ステップ1
課題の把握** ●区民の意見や地域の課題など、整理・分析をしました。



**ステップ2
テーマの選定** ●調査審議する課題・テーマを選びました。



**ステップ3
解決策の検討** ●解決の方向性など、様々な視点から調査審議しました。



**ステップ4
解決策の提言** ●調査審議でまとめられた解決策を提言しました。

2. 第1～5期区民会議の審議の流れ

第1期

心が響きあう地域づくり

H18. 7～H20. 6

○地域のつながり「あいさつ」がはじまり

- ・防犯パトロールの支援の検討（ベストや腕章等の貸与）
- ・冊子「あいさつが交わし合える地域づくり事例集」の作成（第2期で実施）

○高齢者が輝く地域づくり

- ・高齢者の地域参加をテーマに「老人いこいの家」の活性化案を検討
- ・「老人いこいの家」と「老人福祉センター」の愛称を募集
※「いこいの家」、「いきいきセンター」の愛称が選定

○地元農産物と地域の交流

- ・区の特長である「農」に着目し、区内小学校の食育担当の取組状況等、学校と地域との連携について調査



第2期

心が響きあう地域づくり

H20. 7～H22. 6

○市民活動推進

- ・「こども文化センター」について市民活動拠点としての視点からヒアリング調査等の実施
- ・積極的な広報、各施設間の連携の方法や区民が利用しやすい施設運用の検討

○文化芸術のまちづくり

- ・川崎・しんゆり芸術祭2009開催を受け、「市民参加の芸術祭」の取組を検討
- ・絵画展の開催や美化清掃活動に参加

○異世代間の交流

- ・専修大学、保育園等と協働して、世代間の交流を実施
- ・区内の施設で「エコバックづくり」や「エコかるた」による交流会の実施

○エコのまち麻生の推進

- ・レストランあさおでモデル事業の実施
- ・生ごみ堆肥等で作った花や野菜の写真展や生ごみリサイクルと地産地消フォーラムの開催

○環境教育

- ・身近な地域から地球温暖化防止を進めるため、区内の取組事例等を調査
- ・学校向けの環境学習資料「麻生区エコカルテ」を作成し、区内小中学校に配布



○高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり

- ・高齢化の進展、近隣関係の希薄化などを受け、地域で支えあうコミュニティシステムの視点からヒアリング調査等を実施
- ・広報活動や地域の絆づくり、担い手の発掘と育成

○区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり

- ・情報発信の機能や中心となる担い手など、芸術・文化のまちづくりの形を検討するため、区内八つの文化芸術団体にヒアリング調査等を実施

○循環型のまち・生ごみリサイクル

- ・区民が実践できる「ごみの減量」や「リサイクル」に着目し、市民アンケートや先進自治体へのヒアリング等を実施。写真展、モデル事業を開催

○グリーンアップ・里山ボランティア

- ・麻生区の特徴である緑の減少をふまえ、これまで手つかずだった区内緑地について、市民ボランティアの力を活用しての保全活動を実施



○家具転倒防止に向けて

- ・区民にわかりやすく、コンパクトにまとめたパンフレットの作成・配布
- ・取組を支援するための体制の整備、普及啓発のための説明会や出前講座の開催
- ・住まい方に合った方法を提案できる専門技術者の人材確保
- ・市・区の関係部署が連携・協力し、財政的、技術的、情報面で支援する体制を整備

○家屋の倒壊防止の普及

- ・普及啓発パンフレットの配布、説明会の開催

○火災予防・火事発生への対応

- ・消火器等の設置推進・啓発

○あさお子育てフェスタを契機とした地域の子育て支援体制の構築

- ・あさお子育てフェスタの継続開催、地域で子育てを支援するネットワークの強化

○子育て世代が楽しめる豊かな芸術文化環境の区内区外への情報発信

○麻生区の「芸術のまち」構想の推進と独自ブランドの確立

- ・幅広い地域情報の収集と麻生区の芸術文化の発信を進めていく
- ・「しんゆり芸術のまち」をブランド化として確立



○魅力に関わる団体の連携

- ・区民と行政が協働した組織体制をつくり、「(仮称)麻生区魅力PR委員会」の設置

○魅力の情報発信

- ・麻生区のホームページの改善
- ・「(仮称)麻生シティセールス・PR部門」の設置
- ・麻生区の魅力ブランド化し、効果的にPRする「キャッチフレーズ」の検討

○空き家の利活用

- ・学生や地域、NPO・大学・民間事業者等による「空き家ネットワーク」の構築

○ボランティア活動の土壌づくりに向けて

- ・「ボランティアのまち・あさお」を掲げる

○「あさおボランティア情報センター(仮称)」の設置に向けて

- ・「あさおボランティア情報センター(仮称)」を拠点とした、ボランティア参加のネットワークの構築

○ボランティア参加のきっかけづくりに向けて

- ・ボランティア情報の効果的な発信とともに、情報の一元化の取組の推進
- ・麻生市民交流館やまゆり、麻生市民館、麻生区社会福祉協議会等の各相談窓口の連携



第2章 第6期区民会議について

1. 審議課題の選定と審議の流れ

I 地域課題の把握・整理

(1) 地域課題の把握

第6期の区民会議の審議テーマについては、第1期から第5期までの課題等を整理した上で、日頃から地域課題に関わる委員からの意見、市の統計及び市民アンケートの結果等を参考に検討し、これらを基に、区民にとってより身近な課題を抽出しました。

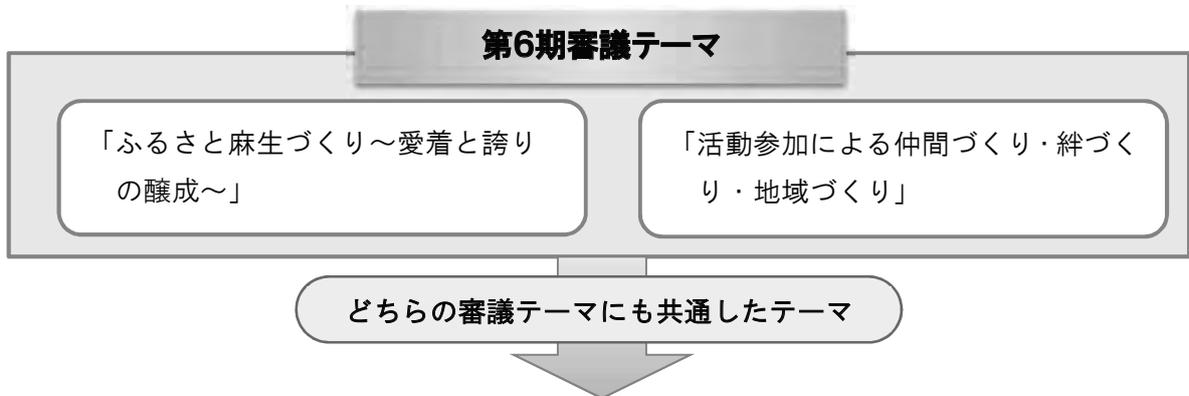
(2) 地域課題の整理

提案された内容を基に、課題の整理と分類分けをしました。

大分類	中分類	小分類
市民活動の活性化・地域の活躍の場づくり	高齢化に向けて	高齢者の参加の場づくり、地域での活躍
	市民活動	市民活動団体のPR
		市民活動への参加の促進
		参加しやすいPTAのあり方について 「あさおボランティア情報センター」の設立への検討
地域コミュニティ・地域の居場所・地域防災	子ども・子育て	子どもの居場所・遊び場づくり
		子育て支援
	地域コミュニティ	多世代交流・世代間交流の場づくり
		地域の顔が見えるコミュニティづくり
		町内会・自治会の参加の促進
	防災	災害時の自助・共助
地域の防災対策の充実		
麻生区の魅力・まちづくり	芸術のまち	芸術のまちの推進、芸術のまちの区民への周知
	農業	農業振興地区における農業の活性化、農を活かした地区の魅力発信
		生産緑地周辺の住民の農業への理解、地元農家との交流
		地消地産、食育の推進
	麻生区の魅力発信	「麻生区魅力PR委員会」の設立への検討
	空き家	「空き家ネットワーク」の構築への検討
		空き家の活用
麻生区全体のまちづくりについて	麻生区のまちづくりを多角的、総合的に進める・検討する。	
公共施設のあり方	公共施設の老朽化への対応、魅力ある公共施設	
その他	これまでの区民会議の提言について	提言具体化の進捗状況の確認

Ⅱ 審議テーマの選定

抽出された地域課題を基に、ワークショップ（ワールド・カフェ方式）を行い、区民にとって特に関心が高く、対策が必要な二つの審議テーマを決定しました。



第6期全体テーマ⇒「心がかよう魅力あるまち あさお」

Ⅲ 調査審議

審議テーマごとに「麻生区の魅力の発掘・発信検討部会」と「市民活動・絆づくり部会」の二つの専門部会に分かれ、約2年をかけて、調査審議しました。

専門部会や全体会議における審議のほか、「子育てフェスタ」来場者へのヒアリングや区民会議フォーラムの開催等を積極的に進め、多様な意見を整理・分析して、審議の充実を図りました。

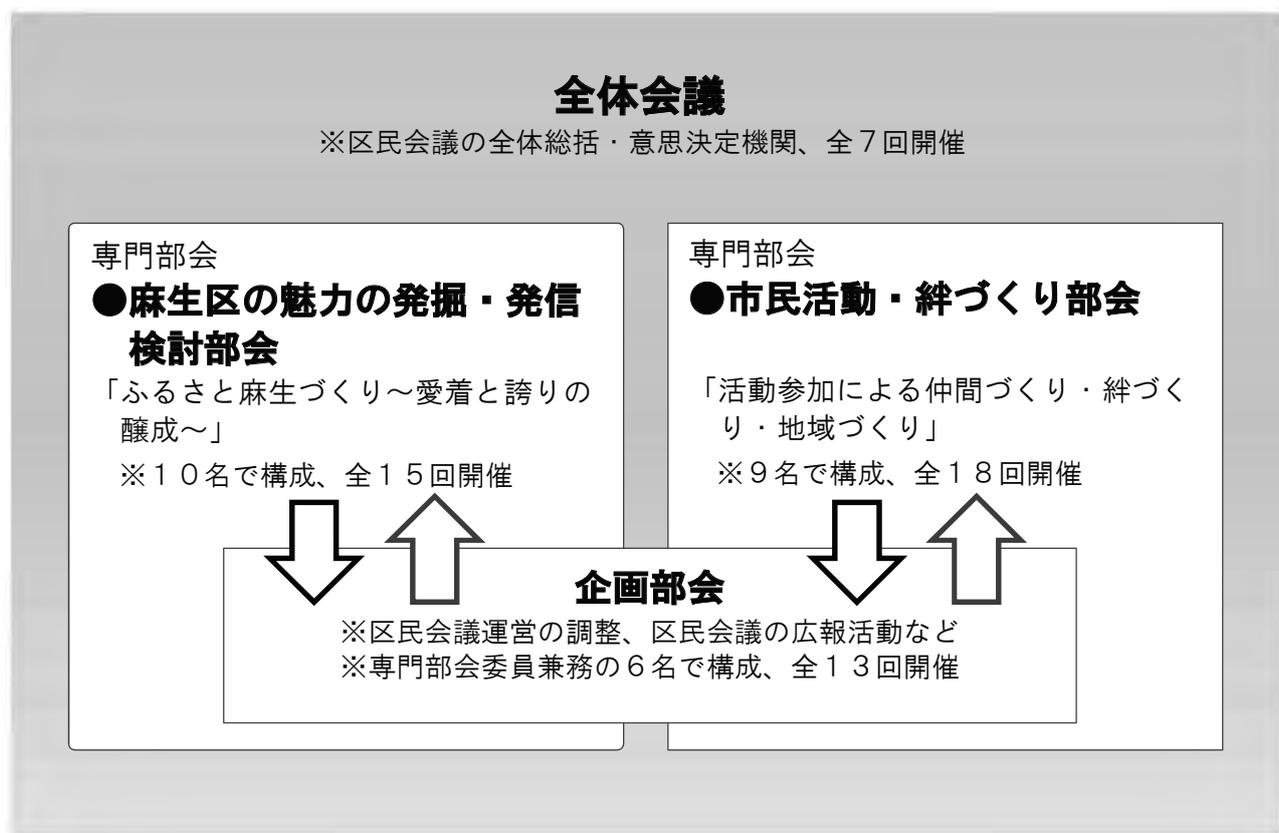
区民会議運営や広報活動を担う「企画部会」では、地域情報紙と連携する等、区民会議の認知度向上のためのPRを行いました。

企画部会と各専門部会を毎月開催し、勉強会やヒアリングを行いながら、区民や地域に密着した調査を進め、議論と実践を重ねました。

Ⅳ 提言のとりまとめ

2年間の調査審議結果を基に、提言のとりまとめを行い、区長へ提言しました。

2. 会議の構成と役割



第3章 各部会の審議と取組について

1. 企画部会

企画部会は委員長や各専門部会長等を含む6名の委員で構成され、原則、毎月第2月曜日に会議を開き、次のことを検討しました。

- I 審議・調査・提言すべき課題の整理
- II 区民会議（全体会議・各部会）の運営
- III 広報・広聴活動（PR活動・区民会議ニュース等）
- IV 区民会議フォーラムの開催
- V 区民会議報告書の作成

I 審議・調査・提言すべき課題の整理

第1回企画部会では、第1期から第5期までの課題等を踏まえ、第1回全体会議に委員から出された地域課題に関する意見を基に、「市民活動の活性化・地域の活躍の場づくり」と「地域コミュニティ・地域の居場所・地域防災」、「麻生区の魅力・まちづくり」の三つのテーマで、席替え方式のワークショップ（ワールド・カフェ方式）を行いました。

ワークショップでは、三つのテーマに関わる個別の課題や検討の方向性について、活発な意見交換が行われました。最後に意見交換の内容を整理し、第6期では「ふるさと麻生づくり～愛着と誇りの醸成～」と「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」の二つのテーマで調査審議を進めることとしました（二つの部会の設置は、第2回全体会議で決定）。



II 区民会議の運営

各部会の審議や進行状況を、毎月確認する機会を設け、お互いの部会の取組状況について意見を交換し、各部会の審議の充実を図りました。

また、企画部会が区民会議全体の舵取り役を担うことで、委員間の情報共有や意思統一が図られ、効率的な運営となりました。

III 広報・広聴活動

平成26年度かわさき市民アンケートによれば、麻生区の区民会議の認知度は26.7%と、23年度のアンケート時の22.2%から4.5%上がっていますが、依然として低い状況にあるため、第6期も引き続き、区民の認知度向上を目指し、積極的な広報・広聴活動を展開しました。

(1) PR活動

① 各種地域情報紙の活用

・区内の各地域情報紙（メディ・あさお、タウンニュース、マイタウン）、市政だより等々を活用し、区民会議への傍聴を広く呼びかけました。

② 区ホームページの活用

・テーマや審議内容を掲載し、区民会議への傍聴を広く呼びかけました。

③ 町会連合会への働きかけの強化

・町会・自治会は区民と直結した組織団体であり、区民会議ニュースの回覧など、協力関係を築きました。

(2) 区民会議ニュースの発行

区民会議の認知度向上と区民会議の情報を区民に届けるため、区民会議ニュースを全6回発行し、進捗状況などを周知しました。

体裁：A4（第1号、第6号はA3） モノクロ、部数：5,000部/回

配布先：町会・自治会、区役所、図書館、市民館、麻生市民交流館やまゆりなど

編集・印刷・発送準備：企画部会委員が担当

	発行時期	主な内容
第1号	平成29年 3月	審議テーマの決定について
第2号	平成29年 6月	各部会の調査・審議状況
第3号	平成29年11月	各部会の取組内容について
第4号	平成29年12月	区民会議フォーラム開催案内
第5号	平成30年 3月	区民会議フォーラム報告
第6号	平成30年 6月	報告書完成（提言）

(3) 広聴活動

区ホームページ、区民会議ニュースの意見募集、区役所ロビーに提案箱を設置し、随時意見を受け付け、区民会議ニュースで回答を行いました。なお、主な意見は次のとおりです。



■病院・飲食店・駅頭等、多種多様な場所に案内ポスターやチラシを置いて、地域活動への参加を呼びかけると良いのではないかと。

IV 区民会議フォーラムの開催

市民活動・絆づくり部会が企画検討した内容について、開催に向けての広報や役割分担などの調整を行いました。また、参加者へ区民会議活動の経過を報告するため、ブースを設置しました。

V 区民会議報告書の作成

各専門部会と連携し、約半年の期間をかけて、この「第6期区民会議報告書」の編集・作成に携わりました。

2. 麻生区の魅力発掘・発信検討部会

「麻生区の魅力発掘・発信検討部会」では、次のとおり調査・審議を進め、多くの麻生区民にふるさととしての魅力を感じてもらうための方法を検討してきました。

I 審議課題の検討

○麻生区の魅力を発掘・発信するうえで、どのような課題があり、課題を解決していく方法などについて、第1期～5期の提言を振り返りながら、意見を出し合い、部会の方向性を検討しました。

II 審議テーマの選定

○ふるさと麻生づくり ～愛着と誇りの醸成～

区民に麻生区をもっと好きになってもらい、ふるさととしての魅力を感じてもらうことで、今後も住み続けてもらうことを目指しました。新しく住みはじめた子育て世代に、麻生区をふるさとと感じてもらい、その子どもたちが大きくなっても住み続けたいと思ってもらうことを目指しました。

III 解決策の検討（審議内容）

○麻生区の魅力の発信方法の検討

麻生区の特徴ある魅力といえるものは何かということを検討し、「自然と農」、「芸術・文化のまち」、「市民活動が盛ん」であることを発信していくことを確認しました。

また、それらの魅力を、「知ってもらうきっかけをつくること」を目標とし、まずは広く「知る（知ってもらう）」「関心を持つ（持ってもらう）」という視点から検討しました。

IV 提言内容の検討

(1) 子育て世代に向けた情報発信の強化

子育て世代に、麻生区に愛着を持ち、住み続けたいと思ってもらうために「麻生区の魅力」の情報発信を強化していくことを検討しました。

(2) 魅力を発信する媒体の作成

麻生区の魅力をつなぎ合わせて発信するための媒体の一つとして、冊子の作成が必要であり、作成にあたっては行政と協働で実施することを検討しました。

I 審議課題の検討

麻生区では、今後さらに少子高齢化が進むことから、生産年齢人口の減少による様々な問題が予想されています。このことから、若い世代にこれからも麻生区に住み続けたいと思ってもらうために、どのような課題があるのか、その課題を解決していく方法などについて、第1期～5期の提言を振り返りながら、自由に意見を出し合い、部会の方向性を検討しました。

《意見交換で出された意見》

麻生区の魅力の PR・情報発信

- ・第5期にて検討されたPR委員会の具現化を検討したらどうか
- ・麻生区の様々な魅力を細分化して横につなぐとよいのではないか
- ・若い人に住んでももらうためのPRが必要ではないか
- ・麻生区が芸術のまちであることをPRしてはどうか
- ・魅力をPRできるような拠点（コミュニティカフェなど）があるとよい

【方向性】

- 麻生区の魅力の発信について検討する。発信については麻生区の魅力を横につないだ形での発信とする。
- 第5期区民会議で検討された麻生区の魅力PR委員会を具現化し、麻生区の魅力を発信する。

麻生区の農業

- ・麻生区の農業の魅力をもっと広く知ってもらうための情報発信が必要
- ・麻生区の農業の課題への対応が必要ではないか
- ・農家の農業への意欲、モチベーション向上のために何かできないか

【方向性】

- 麻生区の重要な魅力として捉えるが、農家ごとに状況が異なるため、今回の審議課題としては見送ることとする。

空き家の活用・ 状況把握

- ・多世代コミュニティの場として空き家を利用できないか
- ・ボランティア等の活動場所として空き家を活用したらどうか
- ・麻生区は家賃が高く学生が下宿しない。空き家の活用はどうか

【方向性】

- 空き家の活用等については、「川崎市空家等対策協議会」において有識者等による協議が進められているという状況もあり、今回の審議課題としては見送ることとする。



少子高齢化による、
人口減少による様々な問題が予測される

⇒ 若い世代に住み続けてもらいたい

そのためには、

麻生区の魅力のPRが必要！

PRすべき麻生区の魅力とは？

都心への
アクセス

自然・農

豊かな自然、景観、
地場野菜、特産品

安全・安心
なまち

芸術・文化

様々なイベント、大学、
アーティストを目指す若者たち

市民活動が盛ん

市民団体活動が盛ん、
元気なシニア

「自然・農」、「芸術・文化のまち」、「市民活動が盛ん」の三つの魅力をPRすることで、
麻生区をもっと好きになってもらい、ふるさとして住み続けてほしい！

区内の、小学
生の子を持つ
子育て世代を
中心にPR

対象



伝播



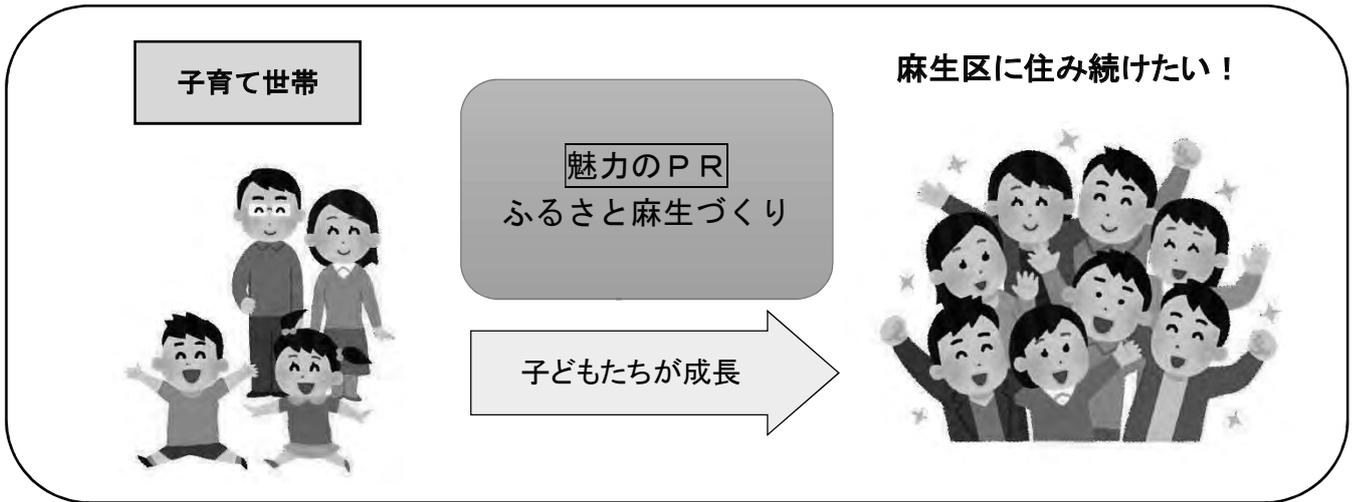
子どもとの活動
を通してシニア
の参加も促進

(3) 審議テーマの選定

検討結果を踏まえながらキーワードをあげ、テーマを選定しました。

審議テーマ⇒ ふるさと麻生づくり ～愛着と誇りの醸成～

○区民に麻生区をもっと好きになってもらい、ふるさととしての魅力を感じてもらうことで、今後も住み続けてもらうことを目指しました。新しく住みはじめた子育て世代に、麻生区をふるさとと感じてもらい、その子どもたちが大きくなって住み続けたいと思ってもらうことを目指しました。

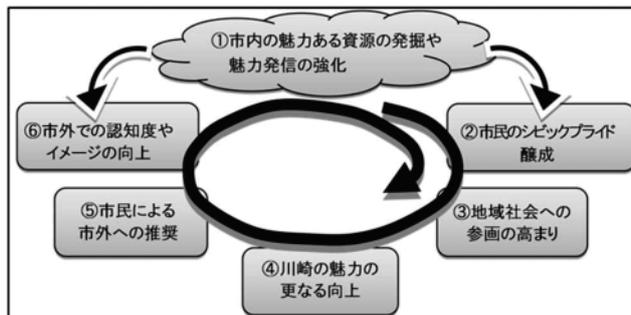


Ⅲ 解決策の検討（審議内容）

(1) 検討経過

○平成26年度に策定された川崎市シティプロモーション戦略プランにおいて、市民の「川崎への愛着・誇り」を醸成することと、対外的な認知度やイメージの向上を図ることにより、次の図のような好循環が生じることが示されており、当部会においても、この形を目指す方向で議論しました。

○当部会では、まずは区内の魅力ある資源の発掘や魅力発信の強化が重要であるということから、区民（主に子育て世代）に麻生区に愛着を感じてもらえるような魅力の発掘と、その発信方法について検討しました。



※参考：川崎市シティプロモーション戦略プラン（平成26年度策定）

⇒「区民に麻生区を好きになってもらう」→「区民がまちづくりに参加する」→「麻生区の魅力のさらなる向上」→「区民による区外への推奨」→「区外での認知度やイメージの向上」というサイクルをつくるための方法を検討しました。

(2) 麻生区の魅力発信の検討

審議テーマを具体的に進めるために、「発信する麻生区の魅力の明確化」と、「魅力の発信方法の検討」を並行で進めることとしました。

＜麻生区の魅力について＞

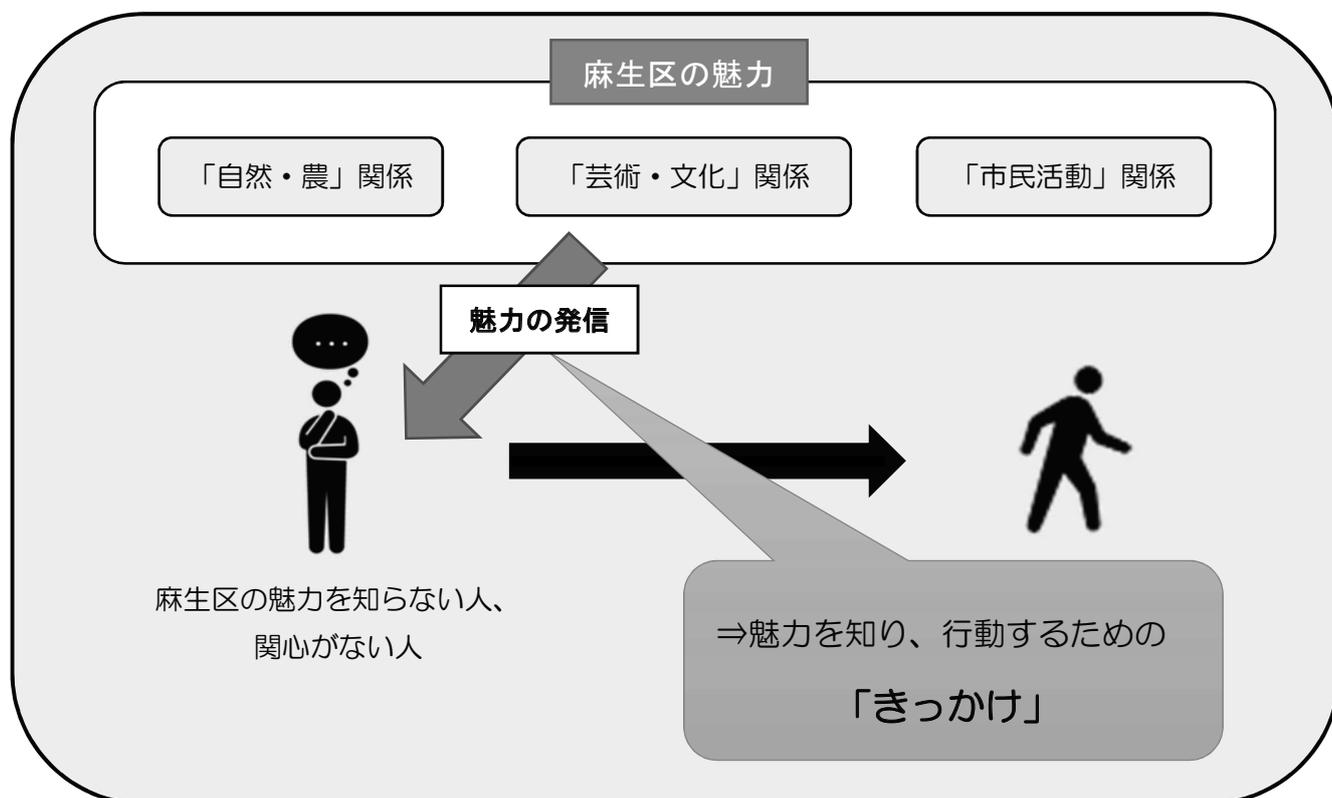
ワークショップにて麻生区の魅力を出し合い、重点的に発信すべき魅力として整理し、「自然・農」、「芸術・文化のまち」、「市民活動が盛ん」の三つに分類したうえで、これらを具体的な魅力として明確にするため、検討を進めました。

《ワークショップで出された意見》

麻生区の魅力の要素	
地元でとれた旬の野菜が食べられる、手に入りやすい	
麻生区の特産品がある	
里山、農地がある風景など、原風景が残っている	自然・緑がたくさん残っている
	人が支える緑
	多様な生物が棲んでおり、ふれあえる
	昔ながらの生活文化・風習が残るまち
良質な景観がある	歴史的建物・史跡が残っている
	街路樹・まち並みがきれい
	変化のあるまち並み
	河川がある景観
芸術に触れあえるまち、区民が支える芸術のまち	芸術文化施設が充実している
	芸術にふれあえる機会が多い
	区民参加の芸術まちづくり
元気なシニアが多い、市民活動に参加している市民が多い	
市民活動が盛ん、市民活動団体が多い	市民活動が盛ん、参加者が多い
	イベントが充実している
子育て関連の市民活動が盛ん	子どもに関わる活動が活発
子育て環境が良好（施設が充実）	子どもがスポーツにふれる環境が充実
	施設が充実している
	子育てに熱心
良質な住環境（きれいな街）	まちが清潔
	住環境が良い
都心へのアクセスが良い	
公園が多い、充実している	
治安が良く、安全・安心なまち	近隣との関係が良い
	安全、治安が良い
魅力的なお店がある	
大学が多く、若者が多い	

<麻生区の魅力の発信について>

- 区民会議では発信については、麻生区の子育て世代を対象に、まずは知ってもらうことが重要なことから、「麻生区の魅力を、広く浅く知ってもらう、知ってもらうきっかけをつくること」を目標とすることとしました。
- このため、麻生区の魅力を、まずは広く「知る（知ってもらう）」「関心を持つ（関心を持ってもらう）」ことに注力することとしました。



⇒部会で検討した麻生区の魅力や発信方法について、対象となる子育て世代に麻生区の魅力を知ってもらうためには、子育て世代が受け取りやすい「発信方法」と「発信場所」を検討する必要があります。そのため、子育てフェスタに来場した子育て世代に対して、「受け取りやすい発信方法と発信場所」についてのヒアリングを実施することとしました。

(3) 子育て世代へのヒアリング調査

麻生区に住む子育て世代を対象に魅力をPRしていくことに決めましたが、実際の区内に住む子育て世代が、麻生区に対して、どのような魅力を感じているか、また、どのような発信方法や発信場所であれば情報が受け取りやすいと感じるかを調査することとしました。

あさお子育てフェスタでのヒアリング調査

30～40代の子育て世代が多く参加する、あさお子育てフェスタにて、麻生区の魅力発信に関するヒアリング調査を行いました。

■調査日 平成29年9月16日(土)

■対象 あさお子育てフェスタに来場した保護者

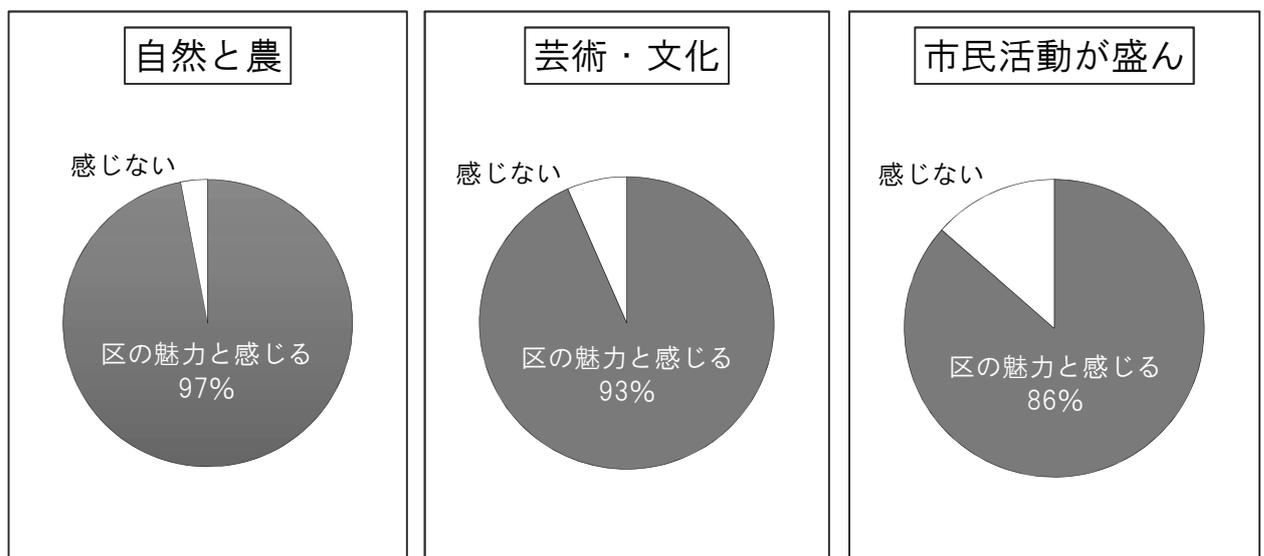
■調査方法 部会の委員が運営スタッフとして参加し、来場者に声かけしヒアリング調査を実施

■調査結果 回答者数151人(女性106人、男性45人)

ヒアリング調査でわかったこと

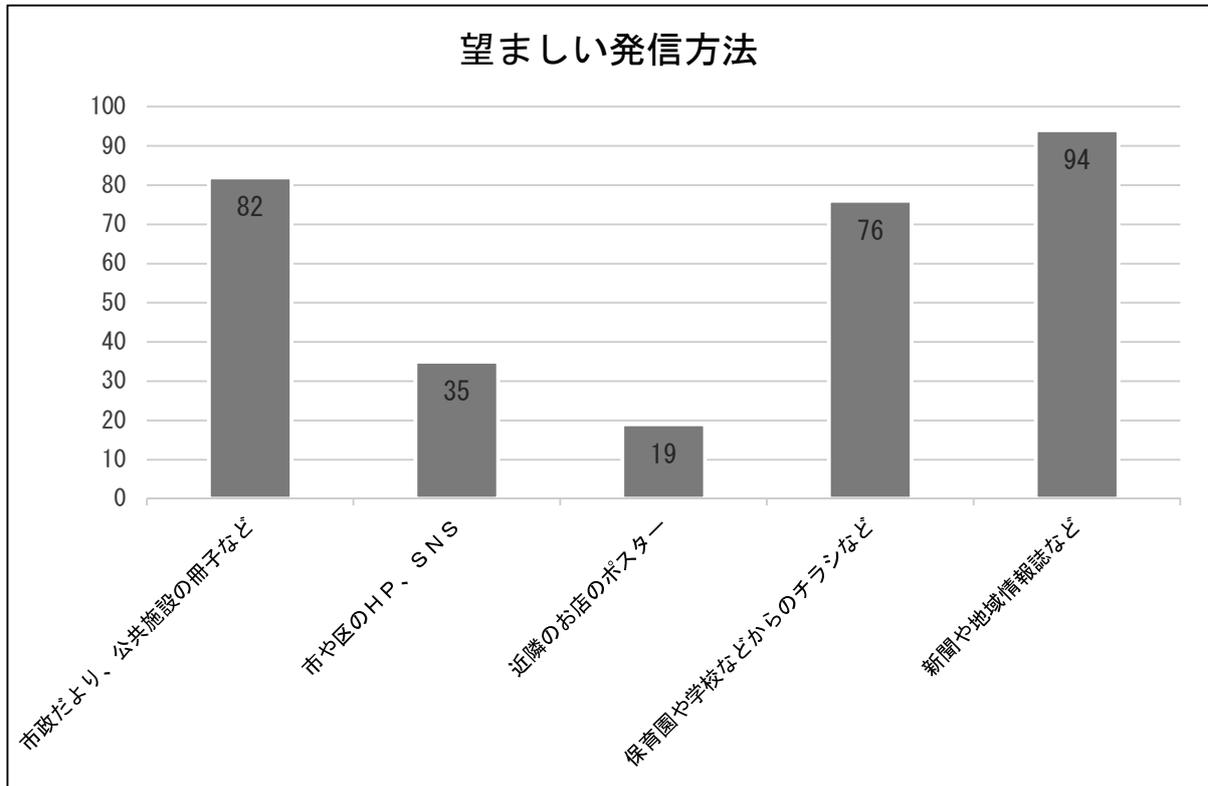
【麻生区の魅力について】

○麻生区の魅力について、「自然と農」「芸術・文化のまち」「市民参加が盛ん」とであると認識している人は多く、部会での検討内容と一般区民の認識にずれは無いことがわかりました。



【魅力の発信方法について】

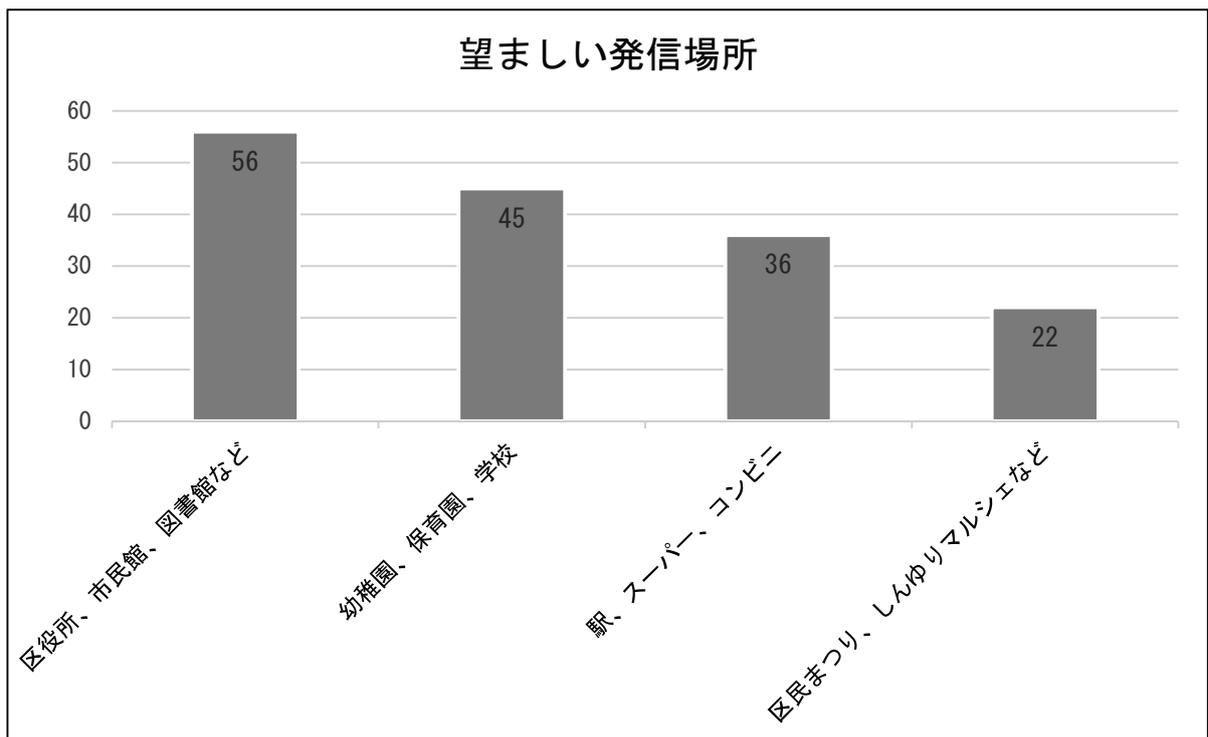
○新聞や地域情報誌など自宅に直接届くものに次いで、公共施設に置かれる冊子類や、保育園や学校等で配布されるチラシ等が情報として受け取りやすいとの回答が多くあったことから、子育て世代は、家庭に持ち込まれる情報の方が接しやすいことと、信用度の高い発信元が好まれることがわかりました。



○ホームページやSNS等を使用した情報発信を選ぶ人もいましたが、紙媒体での情報発信を選んだ人の方が多くいました。情報を受け取りやすく、手元に置いていつでも見られるという利点が好まれていると思われます。

【魅力の発信場所について】

○「区役所、市民館、図書館、こども文化センター」や「幼稚園、保育園、学校」から発信される情報の方が、「駅、スーパー、コンビニ」やイベント等で発信される情報よりも受け取りやすく、信用度が高い発信元から得られる情報の方が好まれることがわかりました。



(4) 発信する麻生区の魅力

発信すべき麻生区の魅力について、検討を重ね、以下のようにまとめました。

「自然と農」、「芸術・文化」、「市民活動が盛ん」な麻生区

- ・麻生区は、都心に近いまちですが、田んぼや畑、里山などの緑が多く残り、芸術に関わる活動が盛ん、市民活動が盛んなまちです。

■都心近くの自然と農が残るまち

- ・麻生区は、都心に近いまちですが、自然が多くあり、田んぼや畑のような、なつかしい里の風景が残ります。いつでも地元産の新鮮野菜を食べることができます。

■芸術・文化のまち

- ・麻生区は、芸術・文化のまちと言われており、芸術・文化活動が盛んなまちです。さまざまな芸術や文化活動が日々行われており、身近なところで本物の芸術や文化にふれられたり、体験して楽しむことができます。
- ・昭和音楽大学や日本映画大学があり、アーティストを目指す人たちが集まるまちです。また、子どもたちをはじめとした、地元の方を対象とした体験型のイベントなど、芸術・文化にふれあえる機会もあります。

■市民活動が盛んなまち

- ・麻生区では、他区に比べて市民活動団体が多く、ボランティア・市民活動が盛んなまちです。緑が多く残っていることや、芸術に関わる取組が盛んなのも、市民活動によるところが大きいと言えます。
- ・市民のまちづくり参加への意識が高いことから市民活動に参加する人が多く、区内各地で地域交流イベントなど、さまざまな活動が行われています。このようなこともあり、住みやすいまちと言えます。

■魅力を身近に感じ、参加できるまち

- ・麻生区は、安全で安心なまちであることに加え、さまざまな魅力が身近にあり、誰もが参加・体験できます。子どもたちの情操教育に良いなど、子育て世代にも魅力のあるまちです。

IV 提言内容の検討

(1) 子育て世代に向けた情報発信の強化

子育て世代に、麻生区に愛着を持ち、住み続けたいと思ってもらうために、「麻生区の魅力」の情報発信を強化していくことが重要と考えます。そのためには、単純な情報発信だけではなく、既存の冊子やチラシ、各種団体等の魅力発信活動などと結びつけ、魅力を知ってもらうためのきっかけをつくることを目標とした情報発信が必要であると考えました。

(2) 冊子による魅力の発信について

あさお子育てフェスタでのヒアリング調査結果を踏まえ、魅力の発信方法については、現時点ではホームページやSNS等を使用した情報発信よりも、紙媒体での情報発信を求める人の方が多かったことから、麻生区の魅力を載せた「冊子」を作成することを検討しました。

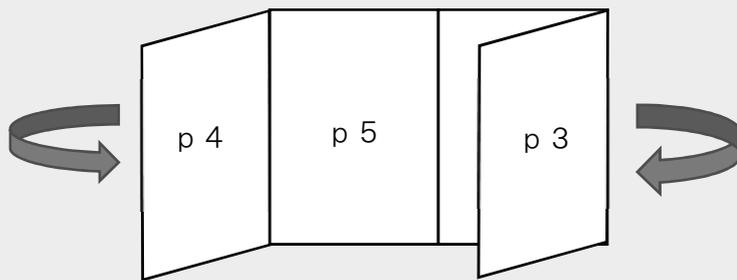
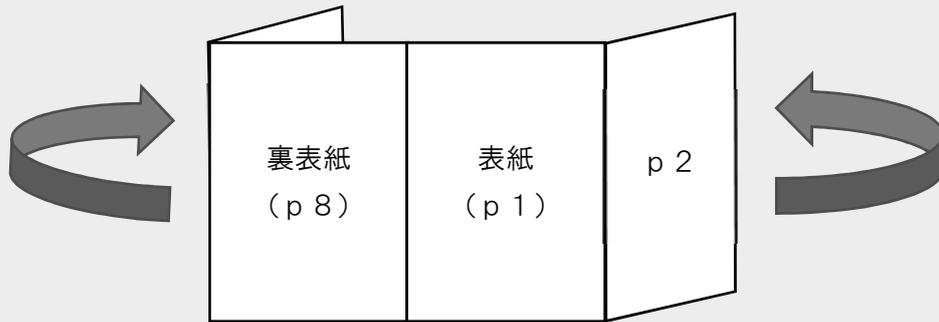
<ポイント>

- 幼稚園、保育園、学校（低学年を中心に）などで配布できることや、公共施設に置くことができるものとする。
- 親子で楽しめるもの、親子で見たくなるものとする。
- 学校等で配布することから、子どもが持って帰りやすいサイズ（B5サイズ程度）とする。
また、ページ数は8ページ、観音開きの形式とする。
- 紹介する魅力は、親子で参加できるものを中心とする。
- 麻生区ではこれまで各分野ごとに魅力を発信した冊子等を多くつくっていることから、それらの冊子につなげるものとする。

<冊子の構成イメージ>

ページ	項目	提言内容への反映事項
1	表紙	・麻生区の魅力を知ってみたい、親子で参加したいと思ってもらえるキャッチーなタイトルとする。 ・「都会にある田舎（田舎のある都会）」をイメージした表紙とする。
2	麻生区の歴史	・麻生区の「成り立ち」がわかる写真を掲載する。 ・麻生区の変わずに残っている部分についても掲載する。 ・三つの魅力に沿った文言を入れ、詳細は既存資料につなぐ形式とする。
3	麻生区の魅力	・本部会で検討してきた三つの魅力をわかりやすく紹介する。
4～7	マップ	・見開き4ページ分の下部あるいは上部に麻生区の四季（1年）の魅力がわかる写真を掲載する。 ・麻生区のマップを作成し、体験型・参加型のイベントや行事を魅力によって色分けし、マップに示す。 ・詳細は各イベントのホームページ、既存資料につなぐ形式とする。
8	既存媒体の紹介	・各種冊子等の情報、必要となるURL等をまとめる。

《レイアウトイメージ》



○観音開き
○B5サイズ程度
○麻生区の魅力を三つの視点からダイジェスト版として伝える

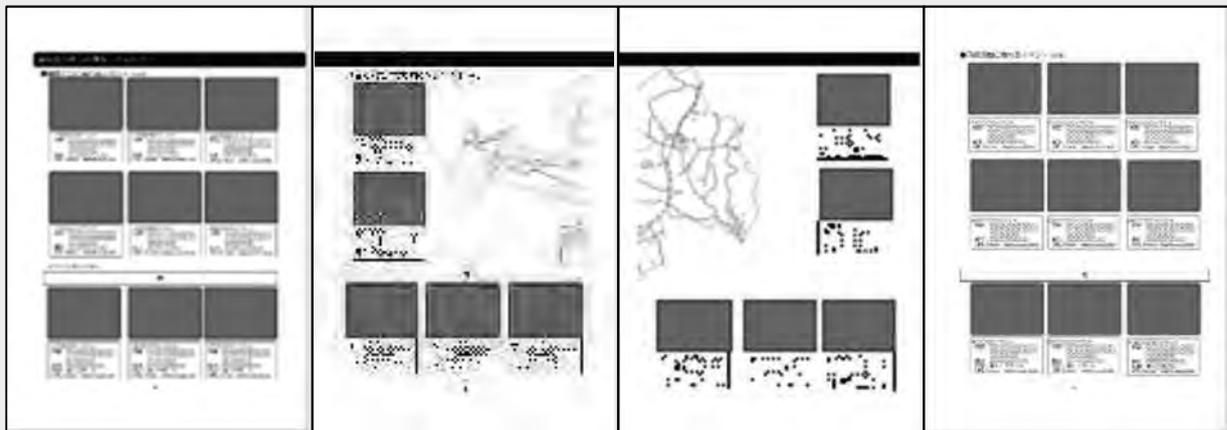


p 3

p 8

p 1

p 2



p 4

p 5

p 6

p 7

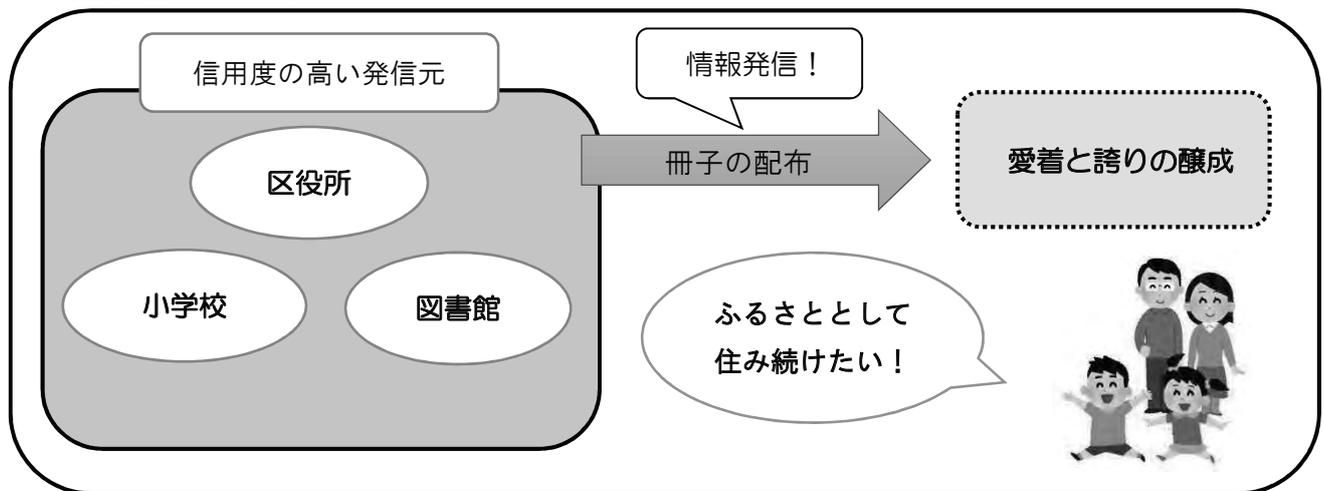
<発信場所（冊子等の置き場所・配布場所）について>

- ・小学校低学年を中心とした子どもたちに、学校等を通じて配布することで、家に帰ってから親子で見られるようにすることを検討しました。
- ・区役所、市民館・図書館、こども文化センターなどの公共施設では、麻生区の魅力コーナー（ラックのようなもの）を設置し、当冊子や、すでに発行されている魅力に関する冊子やチラシ、資料も併せて置くことを検討しました。

<他の発信手法について>

- ・冊子をホームページでも見られるようにするとともに、SNSなども活用し、多くの区民に見てもらえるようにすることを検討しました。

《情報発信イメージ》



(3) 魅力の発信主体についての検討

- ・麻生区の魅力発信については、市民と行政との協働組織をつくり実施することを検討し、魅力発信のための組織の役割と体制について、次のような意見が出ました。

<役割について>

- 冊子、チラシ等の作成のための取材、編集、印刷、発行
- 冊子、チラシ等の置き場所の調整、管理運営
- 麻生区の魅力に関わる取組やイベントや活動等の把握
- ホームページ等の作成、管理運営
- その他効果的な発信方法の検討

<体制について>

- ・発信主体の体制については、市民と行政との協働組織を検討し、組織構成については、次のような人や団体が参加することが望ましいという意見が出ました。
 - 公募区民（魅力発信に興味がある区民）
 - 麻生区の魅力（農と自然、芸術・文化のまち、市民活動）に関わる人
 - 地域紙などのマスコミ関係者
 - 当部会のメンバー
 - 行政（麻生区） など

3. 市民活動・絆づくり部会

「市民活動・絆づくり部会」では、次のとおり調査・審議を進め、多くの麻生区民が地域活動に参加するための方法を検討しました。

I 審議課題の検討

「市民活動・地域活動」に関する課題、第1期～5期の提言を振り返りながら、様々な角度から意見を出し合い、検討しました。

II 審議テーマの選定

○活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり

- まだ地域活動に参加していない人が参加するための方法を検討し、地域の担い手の一員である意識をもってもらうようにする。
- 具体的には、地域活動を通じて仲間ができ、絆が生まれ、地域が活性化する。そして、そのような活動によって健康寿命が実現される（担い手づくりのサイクル）。これを麻生区でどのように具体化していくかを検討する。

III 解決策の検討（審議内容）

○地域活動に参加するきっかけづくりの方法の検討

- ・まだ地域活動に参加していない人が市民活動団体の活動を知る、触れる機会があれば、興味・関心をもってもらうことができ、地域活動に参加してもらえるのではないか。
- その機会として、「キックオフイベント」を開催し、検証することにしました。

IV 提言内容の検討

(1) イベント等の開催

地域活動を知ってもらい、さらに興味を持ち、参加につながるためのきっかけづくりとなるイベント等の開催について、検討していく必要があります。

(2) イベント等の実施方法

イベント等の開催にあたっては、より多くの地域の方が参加できる区民主体の体制で実施していくことや既存イベント等の活用について検討する必要があります。

(3) 市民活動団体の連携

麻生区の更なるコミュニティの活性化のため、市民活動団体同士の連携について、方法等を検討します。

I 審議課題の検討

「市民活動・地域活動」に関する課題、第1期～5期の提言を振り返りながら、様々な角度から意見を出し合い、検討しました。

ボランティア 情報センター・ 市民活動

- ・ ボランティア参加の機会づくりが必要
- ・ ボランティア参加のための制度が充実しているとよい
- ・ ボランティア相談窓口の一元化（ボランティア情報センター）が必要
- ・ ボランティアのコーディネート機能の仕組みが必要
- ・ 区内のボランティア・市民活動の情報が一目で分かるような仕組みが必要

シニアの活躍・ 場づくり

- ・ 高齢者が活躍できる場づくりが必要ではないか
- ・ 高齢者の居場所づくりが必要
- ・ 高齢者施策について考える必要がある
- ・ シニアが元気なまちをつくる

子ども、 子育て環境

- ・ 地域コミュニティの中での子育て支援について考える必要がある
- ・ 公園の利活用のあり方、方法について検討がいるのではないか
- ・ 子育てにおける学校・こども文化センターの活用ができるとよい

地域 コミュニティ・ 地域の絆

- ・ 町内会等への参加率を増やす方法の検討してみてもどうか
- ・ 若者の地域コミュニティへの参加の推進が必要
- ・ 地域の絆、共助、その体制のあり方について検討が必要
- ・ 多世代交流の場・機会づくりについて考えてみてはどうか
- ・ 学校区ごとに地域コミュニティを考えてみてはどうか

これまでの 提言の 振り返り

- ・ 第5期で提言したボランティア情報センターを引続き検討してみてもどうか
- ・ 過去の区民会議提言のフォローが必要になる
- ・ これまでの提言を踏まえ将来の麻生区を考える必要がある

Ⅱ 審議テーマの選定

意見を整理すると、第5期「市民活動・地域活動の活性化部会」の提言が出された意見を包括しており、それらをベースに出された意見を大きく二つに整理して、テーマの検討を行いました。

①第5期「市民活動・地域活動の活性化部会」からの提言フォロー

提言の内容	審議結果
【提言1】誰もがボランティアを身近に感じ、ボランティア活動に参加しやすい機運を高めるために「ボランティアのまち・あさお」を掲げることを提案します。	活動へ参加する土壌をどのようにつくるかを検討する。
【提言2】「あさおボランティア情報センター（仮称）」を拠点とした、ボランティア参加のネットワークを構築することを提案します。	ボランティア情報センターの活動内容等を検討する。
【提言3】ボランティア情報の効果的な発信とともに、情報の一元化の取組を進めることを提案します。	現在進められている「麻生区市民活動団体検索サイト」の状況を見守る。
【提言4】相談窓口の連携、入門講座や体験講座の開催等を通じて、ボランティアに関心を持った区民に対して「参加への一押し」をすることを提案します。	活動への参加のきっかけをどのようにつくるかを検討する。

②地域の見守り・コミュニティづくり・多世代交流

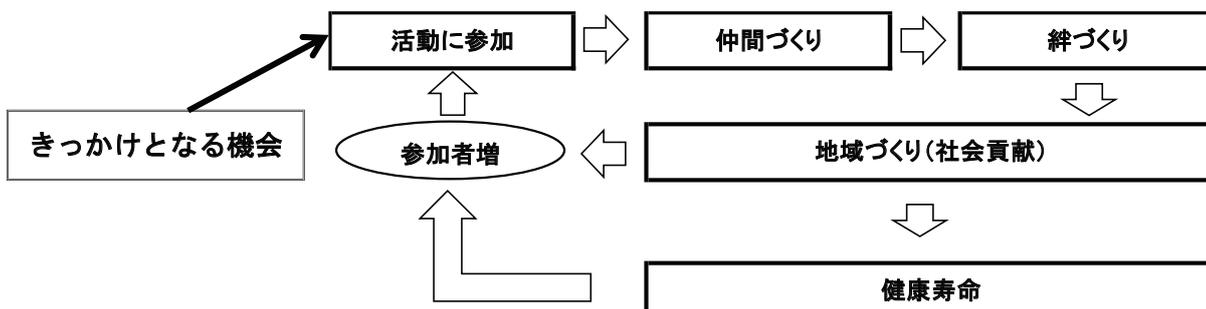
課題の内容	審議結果
地域での見守りや支え合いの場づくり、人材、地域の顔が見える関係づくり。	活動へ参加することによる「仲間づくり」、「絆づくり」を考える。
見守りのためにも多世代交流が必要。	

<テーマの選定>

テーマを決定するため、審議結果を踏まえながらキーワードをあげ、テーマを選定しました。

審議テーマ⇒活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり

- 多くの区民が地域活動に参加するための方法を検討する。そして、区民が地域の担い手の一員である意識を持ってもらうようにします。
- 具体的には、地域活動を通じて仲間ができ、絆が生まれ、地域が活性化する。そして、そのような活動によって健康寿命が実現される（担い手づくりのサイクル）。これをどのように具体化するかを検討します。



Ⅲ 解決策の検討（審議内容）

<①地域活動の担い手と対象>

審議テーマを踏まえて、担い手と対象を検討しました。当部会では、審議テーマの内容を「ボランティア」と限定せず、「地域活動」としました。

■主な意見

- ・担い手づくりのサイクルを回していくためには、若者もサラリーマンも母親もすべての人が関与する形が望ましい。ボランティアに限らず、父親による少年野球のお手伝いも社会貢献であり、地域づくりである。
- ・担い手や対象を限定せずに地域内の誰でも参加しやすくした方が良い。
- ・ボランティアを前面に出しすぎるとハードルが高くなるため、シニアから若者まで幅広い市民活動・地域活動を対象とした方が良い。

担い手と対象の設定

- ・ **地域活動の担い手…多くの区民（世代に関係なく）が地域活動に参加するための方法を検討する。**
- ・ **対象（貢献する相手）…対象については、人だけでなく、緑や教育などを含めた地域に関わるもの全てとする。**

<②審議の方向性>

まずは、区民が地域活動に参加するための「動機」「きっかけ」をどのようにして作るかを検討しました。

→近年は、「働き方改革」や「プレミアムフライデー」など仕事ばかりでなく、家族や地域にも目を向けて行こうという機運になっているので、誰もが地域活動に参加できる機会をつくる必要があります。

→また、活動参加を促すためには、活動に対する“共感”が大事であると考えます。

■主なアイデア

- ・活動をPRする機会、知る機会を増やす仕組みづくり（例：団体と関わる機会やSNSの活用）
- ・活動拠点の確保に関する検討の必要性（例：区内の行政施設、民間施設の活用等）
- ・活動に参加する方の負担を減らすための仕組みづくり（例：交通費の対応等）
- ・人材の掘り起こし・育成の必要性（例：地域コーディネーターやリーダーの発掘・育成）
- ・活動のキーマンと担い手となる人を結びつける仕組みづくり（例：興味がある人が集まる場）
- ・参加を促すことや参加のハードルを下げるための仕組みづくり（例：講座（アクティブシニア講座やこすぎの大学など）の開催、キャッチフレーズ（健康寿命））
- ・趣味や住んでいる地域から参加につながる仕組みづくり（例：趣味グループ、町内会等）



⇒市民活動団体が参加する「(仮称)市民フォーラム」の開催が意見として出されたが、開催にあたり、まずは委員間でイメージの共有を図ること、過去や他区の事例を参考にすることとしました。

⇒「麻生区市民活動団体検索サイト」の周知に関しての意見も多く出たが、具体的な方策については、関連する団体に任せることとし、見守っていくようなイメージとしました。

「(仮称) 市民フォーラム」のイメージの共有

■どのような目的で開催し、目的を達成するための手順や手段をどうするか

- ・やまゆりでは会場のスペースの問題があること、関係者主体で終わってしまうことという問題点がある。
- ・活動団体自体の活性化（パワーアップ）の視点も必要でないか。
- ・区民まつり・福祉まつり・やまゆりの活動等の既存の取組が存在するため、市民フォーラムの実現を区民会議の提言としてするのであれば、既存の取組と差別化を図る必要がある。
- ・普段活動に参加していない人をいかに呼び込むかが大事であって、参加団体がただ盛り上がっていても差別化は図れない。既存の取組では結局普段活動に参加していない人が辿りつけていない。
- ・市民活動、地域活動を知る機会を得る仕組みづくりが大事だと思う。
- ・市民フォーラムというとハードルが高く感じられるので、カフェ等の参加しやすい親しみやすい名前にしたほうがよいのでは。
- ・6期としてアウトプット（イベントをやるのか）をどうするかを考える必要がある。少しでも何か形にしたほうがよいのでは。
- ・今期中にキックオフイベントを行い、きっかけを作ってそれを継続してもらおう。
- ・区民がどのようなものを望んでいるかを考える必要がある。

- ・委員間でイメージの共有を図った結果、まだ地域活動に参加していない人が活動に参加するきっかけづくりの方法について検討することとなり、次の意見がまとまりました。

地域活動へ参加するきっかけづくりの方法について

- ・まだ活動に参加していない人に地域活動に興味・関心をもってもらおう。
(担い手づくりのサイクルに乗ってもらおうこと)

【仮説】

- 市民活動団体の活動を知る、触れる機会があれば、興味・関心を持ってもらうことができ、地域活動に参加してもらえるのではないか。
- その機会として、イベントが有効ではないか。

- ・このようなことから、まだ地域活動に参加していない人が活動に参加するきっかけづくりの方法として、麻生区の市民活動団体を知ることができる「キックオフイベント」を開催し、検証することとしました。

＜③区民会議フォーラム（キックオフイベント）について＞

まだ地域活動に参加していない人が活動に参加するきっかけづくりの方法として、「イベント」が有効かどうかを検証するため、平成30年2月3日（土）に麻生区役所会議室で「～麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう～」をテーマとし、キックオフイベントとして開催しました。ステージでのパフォーマンス、市民活動団体の活動発表・プレゼンテーションや市民活動団体の活動体感ブース、情報提供コーナーを設置し、参加者に市民活動団体の活動を体感してもらう機会をつくりました。

※区民会議フォーラムの開催概要・結果等については、第4章参照

（1）区民会議フォーラムのコンセプト

まずはイベントのコンセプトについて検討し、テーマを設定しました。

■主な意見

- ・ イベントに来た人を地域活動につなげる工夫が必要。
- ・ 身近さを感じてもらうために、子育て世代と同年代の人が活躍している団体を呼び、より若い世代が地域活動に関わっていくことを狙うのがよいのではないかな。
- ・ 受け手には市民活動に拘束されたくないという心理が存在すると思うので、まずは地域とつながってもらうことを目的として地域活動についてわかってもらえれば良いのではないかな。今回は市民活動よりも、その前段階の地域活動の部分の仕掛けを作ってはどうか。
- ・ イベントを何のために行うのかについて共有を図る必要があるのではないかな。麻生区の地域資源を知る、つながる、その上で、地域とつながることが楽しいということを知ってもらう必要がある。

テーマの設定

- ・ 「～麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう～」

（2）区民会議フォーラムの対象

次にキックオフイベントは誰に（対象）に向けて開催するかを検討しました。

■主な意見

- ・ 本来の対象が区民全体ということをおぼろげに忘れてはいけないと思うが、キックオフイベントの開催、検証という意味では対象を絞る方がよいのではないかな。
- ・ 市民活動の担い手は平均年齢が高いため、キックオフイベントの目的を考えると年齢が低い層をターゲットにしてもよいのではないかな。イベントとしても子育て世代に来てもらうと盛り上がる。
- ・ 子育て世代がイベントで経験してくれれば、年を重ねて市民活動に興味を抱いたときに、その経験が活動の参加につながるかもしれない。
- ・ 最近の子育て世代は地域社会に興味を持っている方が多い。そのエネルギーが地域社会に向けられるきっかけとなるイベントになればよいのではないかな。
- ・ イベントに親子で来るのは小学校低学年の子どもを持つ子育て世代までではないかな。

対象の設定

- ・ 麻生区の全世代に参加してもらうことを念頭に置きつつ、小学校低学年以下の子どもを持つ子育て世代としました。

(3) 区民会議フォーラムの参加団体について

テーマと対象を踏まえて、参加する団体の条件を検討し、その条件に当てはまる団体を区民会議委員が推薦し、参加団体（10団体）へ依頼しました。

(候補団体の条件)

- ・麻生区の特徴的な団体
- ・自分の趣味や特技（活動に参加していない人）が、地域貢献・社会貢献につながることを知らせてもらえる団体
- ・イベントに参加した人と団体がつながる、イベントに参加した人同士がつながることのできる団体
- ・イベント参加者に、団体に入ってほしいと熱心に訴えかけられる団体

アンケートによる検証

地域活動を知り、触れる機会があれば、興味・関心を持ち、地域活動に参加してもらえるのではないかとこの仮説に対して、区民が麻生区の市民活動団体を知ることができる機会が有効か検証するため、来場者や参加団体にアンケートを実施しました。（来場者アンケート集計結果及び参加団体アンケート集計結果は「資料編」参照）

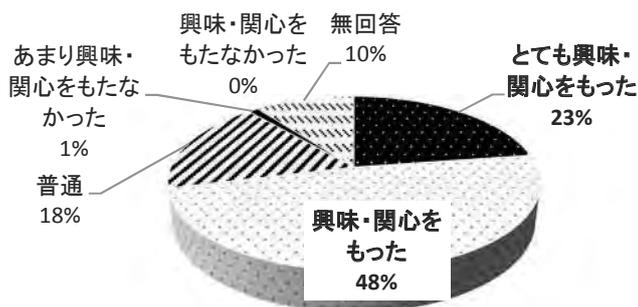
検証内容

- ①地域に関心や目を向けることができたか
- ②麻生区で活動する団体と活動内容を知ってもらうことができたか
- ③活動を身近に感じてもらうことができたか
- ④活動に興味・関心を持ってもらうことができたか
- ⑤活動に参加したいと思ってもらえることができたか
- ⑥自分の趣味や特技が、地域貢献・社会貢献につながることを知ってもらうことができたか
- ⑦イベントに参加した人と団体がつながる、イベントに参加した人同士がつながることができたか
- ⑧自分のこれまで経験したことが、地域貢献・社会貢献につながることを体感してもらうことができたか
- ⑨その他

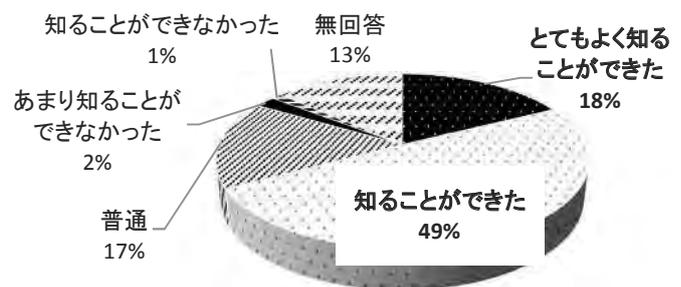
部会での検証

- ・参加者に「活動に興味・関心を持ってもらうこと」、「団体の活動内容を知ってもらう」、「活動を身近に感じてもらうこと」について、約60%~70%の方が「できた」と回答しており、このようなことから、区民会議フォーラムのようなイベントは活動に興味・関心を持ってもらい、団体の活動内容を知ってもらうためには有効であるとわかった。
- ・「活動を始めたいと思ったか」について、半数が「普通（今はわからない）」と回答しており、この方たち今後活動に参加をしたいと思いますと思ってもらえるようなきっかけづくり（一度きりのイベントでは難しいため継続することや既存イベントの活用等）が必要となる。
- ・このようなイベントに興味・関心がある人が潜在的いることがわかるので、イベントの開催は地域活動に参加する人の発掘につながると考える。
- ・多くの方に来場いただいた理由が、小学校にチラシを配ったからということがわかった。
- ・ほとんどの参加団体が参加者とつながることができたと回答していることから、区民会議フォーラムのようなイベントは、団体の活動を知ってもらう機会として有効であると考えられる。
- ・半数の団体が団体同士のつながりができないと回答していたため、交流する場等を設ける必要がある。
- ・準備期間が短く、団体と十分に議論ができなかったため、今後開催する場合は、工夫が必要になる。
- ・今回、子育て世代を対象にイベントをしたが、テーマや対象を絞って開催したほうが、イベントの趣旨が明確になり、参加者にとってもわかりやすくなるため、有効であると感じた。

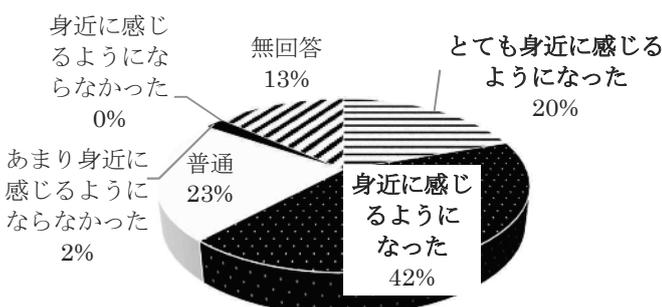
■来場者アンケート結果（一部抜粋）



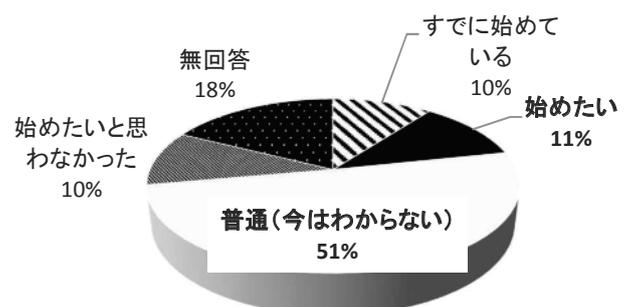
(N=97) ■興味・関心を持つことができたか



(N=97) ■団体の活動内容を知ることができたか



(N=97) ■活動を身近に感じる事ができたか



(N=97) ■活動を始めたいと思うか

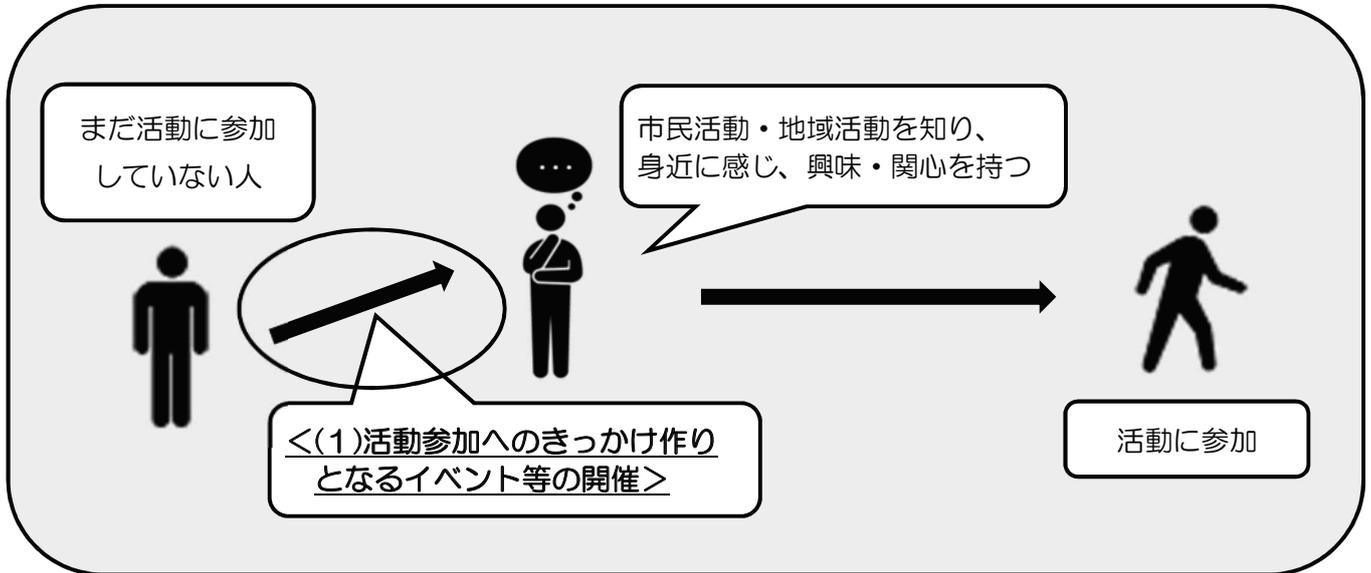
■参加団体アンケート結果（一部抜粋）

・参加者とつながることができたか	<ul style="list-style-type: none"> ・1団体が「どちらともいえない」と回答していたが、それ以外は「できた」と回答。 ・主な意見は、「楽しさを知ってもらえた」、「活動を知ってもらえた」
・団体同士でつながりはできたか	<ul style="list-style-type: none"> ・半数の5団体が「できなかった」と回答。 ・主な意見は、「あまり接点が取れなかった」、「他ブースを見に行くことができなかった」

IV 提言内容の検討

区民会議フォーラムでの検証結果を踏まえると、地域活動を知ってもらって身近に感じ、さらに興味を持ってもらい、参加につなげる方法の検討が必要です。また、麻生区の更なるコミュニティの活性化のため、市民活動団体同士の連携についての方法等を検討します。

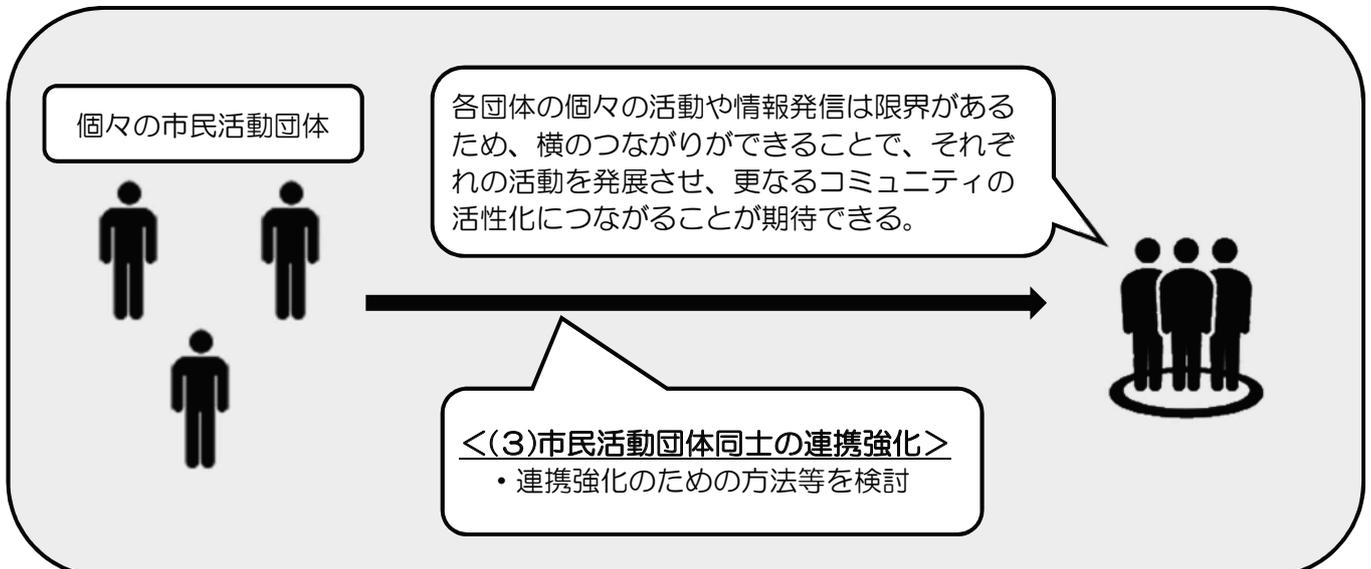
提言のイメージ図



<(2)イベント等の実施方法について>

- ・ イベント等の開催にあたっては、今後の組織のあり方、市民と行政の協働のあり方、既存のイベント（区民まつり、福祉まつり、子育てフェスタ等）との協力の可能性等を考慮し、提言を行うことが確認されました。

- ・ 活動参加へのきっかけ作りにあたっては、まだ活動に参加していない人が参加しやすいように、団体同士が連携を強化し、横のつながりを作り、線から面へ、区内全体へ広がることが求められます。



第4章 区民会議フォーラム 親子で体感してみませんか。 ～麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう～

麻生区区民会議「市民活動・絆づくり部会」では、まだ地域活動に参加していない区民に如何に参加してもらうかをテーマに審議を進めてきました。

地域活動に興味・関心を持つためには、地域活動を知る又は体験する機会が必要であると考え、今回のフォーラムでは子育て世代の方が参加しやすいプログラムで開催しました。当日は、300人を超える方々が来場し、会場は開始から終了まで賑わい、多くの親子が楽しむ姿が見られました。

<①テーマ>

麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう

- 麻生区の地域活動を知ってもらうことで身近に感じ、さらに興味をもってもらうことで、参加につなげることを目的としたイベントとしました。具体的なテーマの目標は、次のとおりとしました。

知ろう	・麻生区には特徴的な活動があること、多様な活動があることを知ってもらう。 ・自分の趣味や特技（活動に参加していない人）が、地域貢献・社会貢献につながることを知ってもらう。
つながろう	・イベントに参加した人と団体がつながる、イベントに参加した人同士がつながる。 ・自分のこれまで経験したこと（活動に参加していない人）が、地域貢献・社会貢献につながることを体感してもらう。
楽しもう	・「知ろう」、「つながろう」を通じて、楽しんでもらう。

<②対象>

- 麻生区の全世代に参加してもらうことを念頭に置きつつ、麻生区在住の小学校低学年以下の子を持つ子育て世代を対象としました。

<③開催日時・場所>

- 日時：平成30年2月3日（土）午後1時～午後4時
- 場所：麻生区役所4階会議室



<④当日のプログラム>

(1) ステージパフォーマンス、各団体の活動発表・プレゼンテーション

- ・ 区役所会議室前方にステージを設置し、「bless4 とアスレチックミュージック」の生徒によるコーラス・ダンスパフォーマンス、「あさお運動普及推進員の会」によるリトミック体操が行われ、会場を盛り上げていました。また、各団体による活動発表・プレゼンテーションが実施され、活動内容等を知ってもらう機会をつくりました。



(2) 市民活動団体の活動体感ブース

- ・ 麻生区で活動する団体のブースをつくり、そこで体験型の催し（おもちゃづくり、クラフト、バルーンアート体験、凧づくり、囲碁体験、地域内資源循環の活動PR等）を行い、参加者に団体の活動内容を体感してもらう機会をつくりました。



(3) 情報提供コーナー

- ・ チラシ設置やパネル展示等で身近な地域の団体や施設の情報などをお知らせしました。



<⑤参加団体>

団体名	団体の概要など
あさお運動普及推進委員の会	区内4公園で週1回「公園 de 健康体操」「ロコモ予防体操」を行っている。また、公園以外でも運動中心にしたボランティア活動をしている。
麻生ファミリー囲碁クラブ(AFIC)	囲碁で学んだことを活かし、立派な社会人に成長することを願い、2007年設立。
あさお和風の会	和風づくりを通じて子ども達に手作りの楽しさを体験してもらうとともに、指導する世代との交流を図り、地域の活性化に寄与する。
アスレチックミュージック	現役アーティスト bless4 のもとで、プロを目指して訓練・活動している。
おもちゃと遊びの会	おもちゃコンサルタントが企画運営し、麻生区を中心として活動している。
おやじ考	麻生区を中心に活動する“おやじの会”で「おやじ考」を称します。キャッチコピーは「じしん・かみさん・かじ・地域」。
ガールスカウト神奈川県第32団	ガールスカウトは、自然をフィールドにした活動、地域に根付いた活動、世界とつながる活動など、年代に応じた体験活動から、少女の感性を豊かにし、さまざまな可能性を伸ばす社会教育団体。
かわさきかえるプロジェクト	廃食油の回収とリサイクルせっけんのアピール、ボランティアによる菜の花プロジェクトを通して地域内資源循環の活動や麻生産菜種油を使った親子料理教室、小学校への出前授業を実施。
グループ「せっけんの家」	せっけんを使うことで水を汚さない暮らし方を提唱しています。特に川崎市名産品でもあるリサイクルせっけん「きなりっこ」をお薦めしている。
ふらっと新百合ヶ丘	親子で楽しめるワークショップを通して農育・食農を育むことを大切に、街の魅力を再発見していく。

<⑥広報>

広報について、チラシ等を作成し、下記へ配布又は情報を掲載しました。

多くの方が来場された理由としては、公共施設に置かれる冊子類や、保育園や学校等で配布されるチラシ等が情報として受け取りやすく、子育て世代にとって、信用度が高い発信元が好まれることがわかりました。

- ・ 町内会・自治会
- ・ 区内小学校1・2年生
- ・ 区内保育園・幼稚園
- ・ こども文化センター
- ・ 地域子育て支援センター
- ・ 麻生市民交流館やまゆり
- ・ 麻生区社会福祉協議会
- ・ 新百合21ホール
- ・ 川崎市アートセンター
- ・ 麻生スポーツセンター
- ・ 麻生区役所
- ・ 麻生市民館（岡上分館）
- ・ 麻生図書館（柿生分館）
- ・ タウンニュース
- ・ マイタウン
- ・ メディあさお
- ・ イオン新百合ヶ丘店
- ・ つなぐっど KAWASAKI
- ・ 区ホームページ
- ・ 区ツイッター
- ・ かわさきアプリ
- ・ 報道掲示板

第5章 提言

1. 「麻生区の魅力発掘・発信検討部会」からの提言

【提言にあたって】

麻生区の魅力発掘・発信検討部会では、今後の超少子高齢社会を見据え、子どもを含めた若い世代が麻生区に愛着を持ち、これからも麻生区に住み続けたいと思ってもらうために、「麻生区に住む子育て世代を対象」とし、区の魅力を伝えることについて、検討してまいりました。具体的には、「自然と農」、「芸術・文化のまち」、「市民活動が盛ん」という麻生区の魅力について、どのように発信すれば、広く知ってもらい、関心を持ってもらえるか調査審議を行いました。

その結果、魅力を発信していくために、「子育て世代に向けた情報発信の強化」と、そのための「魅力を伝えるための情報発信媒体」が必要であると考えました。今後、麻生区の魅力発信を進めていくため、次の二つの方向性から、三つの提言を取りまとめました。

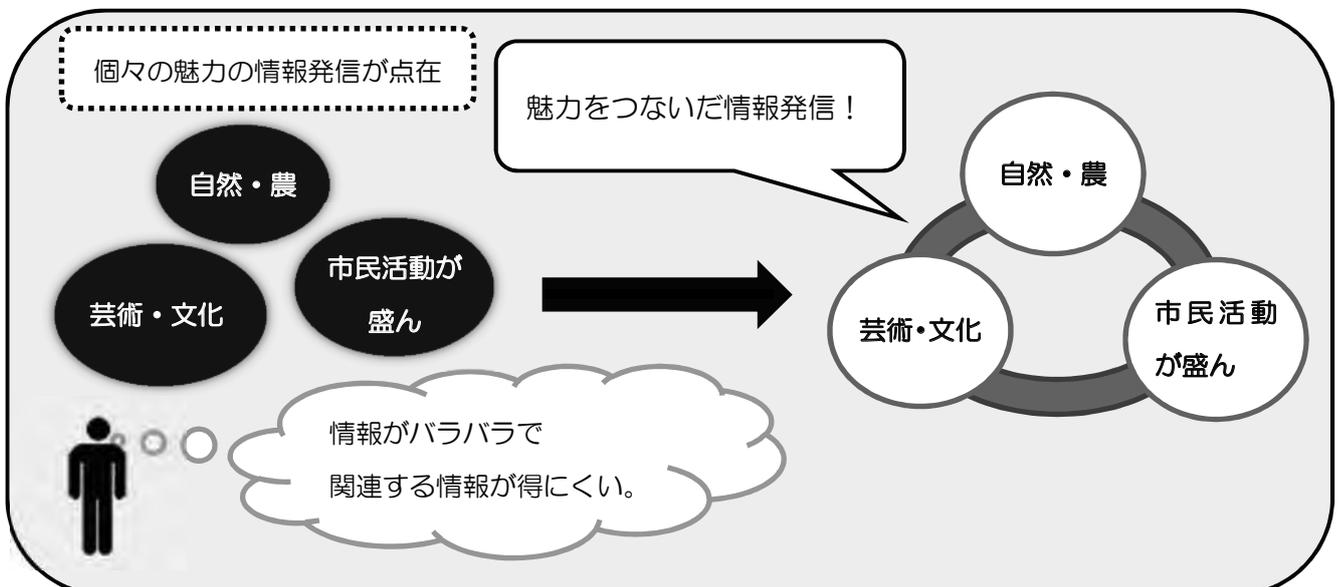
- I 子育て世代に向けた情報発信の強化
- II 魅力をつなぎ合わせて発信する媒体の作成

I 子育て世代に向けた情報発信の強化

提言1 子育て世代に向けた情報発信を強化することを提案します。

《趣旨》

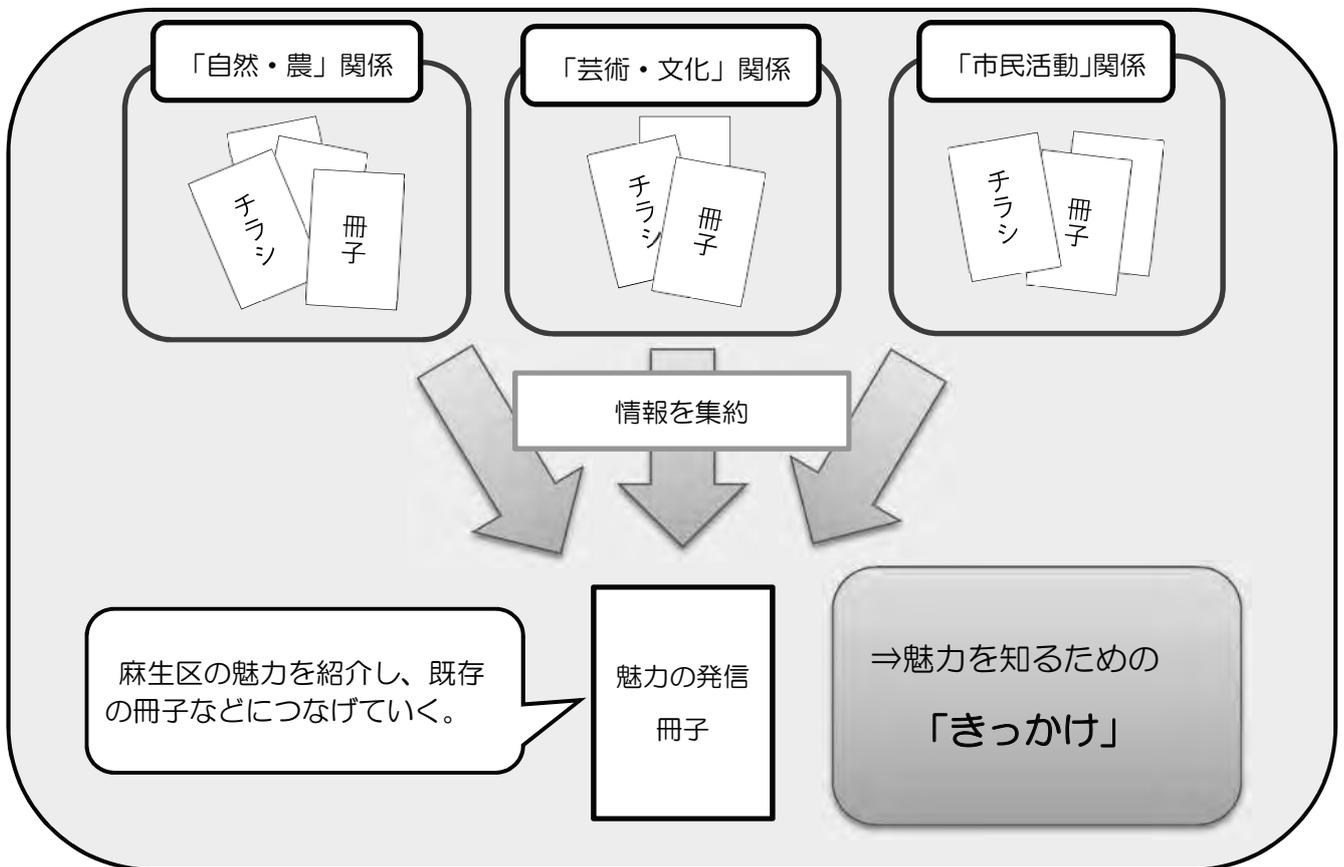
- 子育て世代に、麻生区に愛着を持ち、住み続けたいと思ってもらうために、「麻生区の魅力」の情報発信を強化していくことが重要と考えます。そのためには、単純な情報発信だけではなく、既存の冊子やチラシ、各種団体等の魅力発信活動などと結びつけ、魅力を知ってもらうためのきっかけをつくることを目標とした情報発信が必要であると考えます。
- このために、麻生区の魅力を横断的につなげて、継続して発信する組織が必要であると考えます。



提言2 魅力をつなぎ合わせて発信するための冊子の作成を提案します。

- 麻生区の魅力は「自然・農」「芸術・文化のまち」「市民活動が盛ん」であることと考えますが、これらを別々に発信すると麻生区全体の魅力が伝わりにくいと思われます。このようなことから、麻生区の魅力をつなぎ合わせて発信する媒体が必要と考えます。
- 子育て世代にヒアリング調査をしたところ、家庭に持ち込まれる情報の方が接しやすいことがわかりました。また、ホームページやSNS等を使用した情報発信が望ましいという人もいましたが、現時点では、紙媒体での情報発信を望む声の方が多かったことから、魅力を繋ぎ合わせて発信する媒体の一つとして、魅力を発信するための冊子の作成を提案します。

《冊子のイメージ》



- ヒアリング調査により、信用度の高い発信元が好まれることから、学校等を通じて子どもたちに配布することとし、家に帰ってから親子で見られるようにします。
- 区役所、市民館・図書館、こども文化センターなどの公共施設で手にとってもらえるように、各施設に置きます。
- 区役所などの公共施設に、麻生区の魅力コーナー（ラックのようなもの）を設置し、当冊子やすでに発行されている魅力に関する冊子やチラシ、資料も併せて置くようにします。
- 冊子はホームページでも公開し、今後、冊子よりもホームページやSNS等を使用した情報発信の方が需要が高くなった場合は、電子上の情報発信に移行します。

提言3 冊子の作成にあたり、編集委員会の立ち上げを提案します。

- 麻生区の魅力発信にあたっては、市民と行政との協働で実施することが有効と考えます。
- 冊子の編集にあたっては、区民会議委員の有志や、関心がある区民等を募って準備会を組織し、編集委員会を立ち上げることを提案します。

2. 「市民活動・絆づくり部会」からの提言

【提言にあたって】

市民活動・絆づくり部会では、「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」をテーマにまだ活動に参加していない区民が地域活動に参加していくための方法を検討し、区民が地域の担い手の一員であるという意識を持ってもらうことを目標に審議をしてきました。

具体的には、「地域活動を通じて仲間ができ、絆が生まれ、地域が活性化する。そして、そのような活動によって社会貢献をする意識が高まり、地域づくりへの参加者が増えていく」という「担い手づくりのサイクル」をどのようにして具体化していくかについて、検討しました。

調査審議の結果、「担い手づくりのサイクル」を具体化していくためには、「地域活動へ参加するきっかけとなる機会を作ること」や「地域活動に興味・関心を持ってもらうために、実際の活動を体験できる機会を作ること」、「市民活動団体同士の連携」が必要であると考えます。

今後、麻生区の市民活動を活性化し、仲間づくりや絆づくりを進めていくため、四つの提言を取りまとめました。

提言1 活動参加への「きっかけとなる機会づくり」につながるイベントを開催していくことを提案します。

《趣旨》

- 第6期区民会議フォーラムは、「麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう」を開催のテーマとして、審議テーマである「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」の担い手づくりのサイクルの試行として開催しましたが、300人を超える方々が来場しました。
- アンケート等による検証結果をみると、活動団体のブース等で体験してもらうことにより、地域活動に興味・関心を持ってもらえたり、身近に感じてもらえることがわかりました。
- このようなことから、「活動参加へのきっかけとなる機会」の一つの方法として、区民と協働によるイベント等を開催することは有効であると考えます。ただし、活動への参加を促すためにも、このようなイベントは一度きりで終わるのではなく、継続して開催することが必要であると考えます。
- イベント等の開催にあたっては、今回の参加団体を念頭に、より多くの地域の方が参加できるような区民主体の体制、又は区民・関係機関・行政で協働した体制で実施していく必要があります。



提言2 既存イベントに「担い手づくりのサイクルの具体化」の趣旨を盛り込んで開催していくことを提案します。

《趣旨》

- 麻生区では、区民まつり、子育てフェスタ、福祉まつりなど1年を通してたくさんのイベントが開催されていますが、新たに一つイベントを増やすことは、区民へのわかりやすさや運営者の負担などの課題があります。
- このようなことから、「活動参加へのきっかけとなる機会」に関わるイベントは、新たに増やすのではなく、既存のイベントに活動団体を紹介する機会をつくるなど、「担い手づくりのサイクルの具体化」の趣旨を盛り込んでもらい、開催することが必要です。
- 既存イベントに「活動参加へのきっかけとなる機会」の趣旨を盛り込んで開催していくためには、既存のイベント同士が連携することも重要です。このため、区内で開催するイベント同士が、連絡調整する機会があることが望まれます。

提言3 年代・世代などターゲットを絞ったイベントを開催していくことを提案します。

《趣旨》

- 多くの区民に地域活動への興味・関心、楽しさを知ってもらうためには、年代などターゲットを絞って伝えることが効果的であることが分かりました。地域活動への興味・関心、楽しさを知ってもらいたいのは全区民に対してですが、ターゲットを絞らずに発信してもあまり届かないようです。
- このようなことから、年代等ごとにそれぞれの対象に合った「活動参加へのきっかけとなる機会」が必要です。

○第6期区民会議での審議においては、区民会議フォーラムを通じて、「小学校低学年以下の子どもを持つ子育て世代」を対象にイベントを行うことにより、その親など多世代に波及することがわかりました。

○このようなことから、親子で活動を体験できるようなイベント等を開催することが効果的と考えます。

提言4 市民活動団体同士の連携強化に向けて、「交流する機会等の創出」を提案します。

《趣旨》

○活動参加へのきっかけ作りにあたっては、これまで参加していない人が活動に参加しやすいように、市民活動団体同士が連携し、横のつながりをつくり、線から面へ、区内全体へ広げていくことが必要であると考えます。

○各団体の個々の活動や情報発信には限界がありますが、横のつながりができることで、それぞれの活動を発展させ、更なるコミュニティの活性化につながっていくことが考えられます。横のつながりの関係を持つためには、団体が単にイベント等に参加するだけでなく、交流する機会等も設けていく必要があると考えます。

●今後に向けて

○今後、行政等が開催するイベントの開催にあたって、「担い手づくりのサイクル」の趣旨やその重要性を認識していただき、イベントに参加された区民が地域活動に参加や興味を持ち、地域活動の活性化に繋げていくことを望みます。

○気軽に親子で参加することができるイベントが開催され、親子で地域活動・地域貢献の楽しさを知ってもらうことで、多世代間での仲間づくり・絆づくりがより一層進むことを望みます。

○団体同士の交流イベント等をきっかけとして、市民活動団体同士の横のつながりが生まれることで、区内の地域活動を支える力（地域づくりの力）が強化されることを望みます。

3. 第6期区民会議を振り返って

○テーマの選定

第6期区民会議では、初めに麻生区における地域課題について、第1期～第5期までの10年間の検討経過等を踏まえて、委員の意見やアンケート結果等を検討し、区民にとって特に関心が高く、対策が必要な二つの審議課題を決定しました。また、二つの審議課題に共通する「心がかよう魅力あるまち あさお」を全体のテーマとしました。

具体的な審議は、「麻生区の魅力の発掘・発信検討部会」と「市民活動・絆づくり部会」の二つの専門部会で行いましたが、それぞれの審議は、麻生区の現状および今後の動向を踏まえた内容であったと考えます。

○課題への取り組み

審議課題を幅広く捉えて多面的に審議するには限られた時間でしたが、二つの専門部会では、ほぼ毎月1回の審議を行ったほか、「子育てフェスタ」や「区民会議フォーラム」でのアンケート調査等も行い、議論を深め、提言へ繋げました。

企画部会では二つの専門部会の審議の進捗状況を共有しつつ、区民会議ニュースを通じて区民に報告しました。また、区民から寄せられた意見や提案に真摯に対応しました。

○提言の具現化に向けて

第6期区民会議の審議課題は、高齢化の進展が著しい麻生区において解決すべき重要な課題であると考えます。

提言の具現化に向けては、麻生区の魅力や特質を踏まえ、区民に分かり易いトータル的な取り組みを麻生区全体で進めることが必要です。

取り組みを進めるにあたっては、区民の意見を踏まえると共に、市民活動団体、町内会・自治会、企業および大学等、行政を含む多様な主体との協働・連携になることを期待します。

○区民会議の休止にあたって

区民会議は、これまで6期12年間にわたり調査審議を行ってきましたが、この間に地域包括ケアシステム推進ビジョンや区役所改革の基本方針が策定される等、取り巻く環境が変化したことや、期を追うごとに審議テーマが細かな地域課題から区全体の課題になる傾向があることを踏まえ、平成30年度以降一旦休止することになりました。

しかし、今後も地域における具体的な課題解決に向けた取り組みが重要であることには変わりありません。

今後の「新たなしくみ」の構築にあっては、これまでの区民会議の成果やメンバーの選出方法および審議テーマの選定等の課題を踏まえ、引き続き区民の参加と協働による課題解決ができる形態とし、これを区民が身近に感じられるものとなるように期待します。

■資料編■

【資料編 目次】

第6期区民会議委員・参与名簿	45
第6期区民会議スケジュール	46
第6期区民会議関連資料	47
麻生区の魅力の発掘・発信検討部会	
1. 子育てフェスタ ヒアリングパネル	
2. 子育てフェスタ ヒアリング調査結果	
3. 魅力の発信冊子イメージ	
市民活動・絆づくり部会	57
4. 区民会議フォーラム チラシ	
5. 区民会議フォーラム パンフレット	
6. 区民会議フォーラム 来場者アンケート用紙	
7. 区民会議フォーラム 来場者アンケート集計結果	
8. 区民会議フォーラム 参加団体アンケート用紙	
9. 区民会議フォーラム 参加団体アンケート集計結果	
麻生区区民会議ニュース	69
地域情報紙掲載記事	77

第6期区民会議委員・参与名簿

【区民会議委員】

(五十音順・敬称略)

氏名	選出区分(分野)	推薦団体等	役職	部会		
				企画	市民活動	魅力
あんどう かずひこ 安藤 和彦	産業振興分野	セレサ川崎農業協同組合				○
いしい よしこ 石井 よし子	緑、環境分野	里山フォーラムin麻生				○
うえき まさあき 植木 昌昭	市民活動団体	区長推薦	委員長	○	○	
おがた たもつ 緒方 保	防災、防犯分野	麻生区交通安全対策協議会			○	
かいざき まこと 海崎 眞	公募	公募			○	
さとう しゅうへい 佐藤 昇平	教育、子育て分野	区青少年指導員会			○	
さの さちこ 佐野 幸子	福祉、健康分野	麻生区社会福祉協議会			○	
すがの あきら 菅野 明	文化、観光分野	区長推薦		副部会長		○
すずき あきひろ 鈴木 昭弘	地域特性[地域資源活用]	区長推薦				○
すずき たかひろ 鈴木 隆広	地域特性[6大学連携]	区長推薦		○	部会長	
せきね ひでかつ 関根 秀勝	地域特性[健康づくり]	区長推薦			○	
たかくら ひでとし 高倉 秀敏	市民活動団体	区長推薦		部会長		副部会長
たかはし けいこ 高橋 慶子	市民自治分野	麻生区町会連合会	副委員長	○	副部会長	
ながおか さや 長岡 さや	地域特性[芸術]	区長推薦				○
はしもと いたる 橋本 周	文化、観光分野	麻生区文化協会				○
はやし えみ 林 恵美	公募	公募	副委員長	○		部会長
まつだ きくの 松田 基久乃	地域特性[教育・女性活躍]	区長推薦				○
まつだ みち 松田 通	公募	公募			○	
よしがき きみこ 吉垣 君子	地域特性[児童・地域福祉]	区長推薦				○

【区民会議参与】

(五十音順・敬称略)

氏名	区分	会派
あまがさ ゆうじ 雨笠 裕治	市議会議員	みらい
おいぬま じゅん 老沼 純	〃	自民党
かつまた みつえ 勝又 光江	〃	共産党
こばりかこ 木庭 理香子	〃	みらい
つきもと たくや 月本 琢也	〃	無所属
はなわ こういち 花輪 孝一	〃	公明党
やまざき なおふみ 山崎 直史	〃	自民党
あいばら たかひろ 相原 高広	県議会議員	県政会
いしかわ ひろのり 石川 裕憲	〃	かながわ民進党

第6期区民会議スケジュール

	企画部会	麻生区の魅力の発掘・発信検討部会	市民活動・絆づくり部会	
平成28年度	7月	区民会議勉強会 7月25日(月)、26日(火)		
	8月	第1回全体会議 8月1日(月)		
	9月			
	10月	第1回 企画部会(全委員参加型のグループワーク) 10月3日(月)		
	11月	第2回全体会議 11月15日(火)		
	12月		第1回 12月19日(月)	第1回 12月27日(火)
	1月	第2回 1月31日(火)	第2回 1月17日(火)	第2回 1月26日(木)
	2月		第3回 2月14日(火)	第3回 2月23日(木)
平成29年度	3月	第3回 3月13日(月)		第4回 3月1日(水)
		第3回全体会議 3月21日(火)		
	4月		第4回 4月11日(火)	第5回 4月27日(木)
	5月	第4回 5月8日(月)	第5回 5月9日(火)	第6回 5月25日(木)
	6月	第5回 6月12日(月)	第6回 6月13日(火)	第7回 6月22日(木)
	7月	第6回 7月10日(月)		
		第4回全体会議 7月18日(火)		
				第8回 7月27日(木)
8月		第7回 8月8日(火)	第9回 8月24日(木)	
9月	第7回 9月11日(月)	第8回 9月12日(火)	第10回 9月28日(木)	
10月	第8回 10月11日(水)	第9回 10月10日(火)	第11回 10月26日(木)	
11月	第9回 11月13日(月)	第10回 11月14日(火)	第12回 11月8日(水)	
	第5回全体会議 11月21日(火)			
12月		第11回 12月12日(火)	第13回 12月1日(金) 第14回 12月13日(水)	
1月	第10回 1月15日(月)	第12回 1月16日(火)	第15回 1月25日(木)	
2月	区民会議フォーラム 2月3日(土)			
	第11回 2月14日(水)	第13回 2月13日(火)	第16回 2月15日(木)	
	第6回全体会議 2月20日(火)			
3月		第14回 3月13日(火)	第17回 3月22日(木)	
	■報告書素案確認			
4月	第12回 4月9日(月)	第15回 4月10日(火)	第18回 4月12日(木)	
5月	第13回 5月8日(火)			
	第7回全体会議 5月15日(火)			
6月	■報告書提出			
平成30年度				

麻生区の魅力と発信方法についてお伺いします

- みなさんに麻生区をもっと好きになってもらい、ふるさととしての魅力を感じてもらおう。
- 特に子育て世帯に、麻生区をふるさとと感じてもらい、住み続けてもらいたい。
- さまざまな区の魅力を“知ってもらえるきっかけ”をつくりたい。

⇒麻生区の魅力やその発信に関することをお伺いします。

第6期麻生区区民会議
麻生区の魅力の発掘・発信検討部会

ご協力いただいたみなさま

女性

男性

質問1：次のイベントをどれかご存じですか？

＜自然と農＞



麻生まつり

稲刈り体験

稲刈り体験

・その他

＜芸術のまち＞

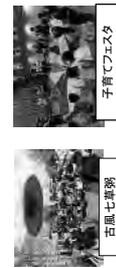


映画づくり体験

合唱団への参加

・その他

＜市民活動＞



子育てフェスタ

古風七草祭

・その他



からむしなどの自然体験イベント

農まつり

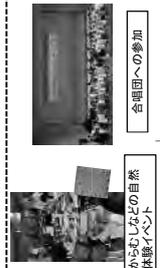
・その他



蒸籠・指押者体験

流汗・空服体験

・その他



からむしなどの自然体験イベント

合組団への参加

・その他

質問2:先ほどのイベントは大きく分けて「自然と農」、「芸術」、「市民活動」に分けられて、これらを麻生区の魅力と考えているのですが、そう感じますか？

魅力	そう感じる・思う	そう感じない・思わない
自然と農		
芸術のまち		

質問3:このようなイベントや区の魅力を、あなたが知るきっかけになって、詳しく調べてもらうためには、どこで、どのように発信すれば届くと思いますか？

発信方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・市政だより、区、市民館、図書館など公共施設のチラシ 	
<ul style="list-style-type: none"> ・市や区のホームページ、市や区のSNS・アプリ 	
<ul style="list-style-type: none"> ・お店のポスター(自宅近く、駅周辺など) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園、学校で配布されるチラシ 	
<ul style="list-style-type: none"> ・マイタウン、メヂ、あさお、タウンニュースなどの地域情報雑誌、新聞の地域面、など... 	

魅力	そう感じる・思う	そう感じない・思わない
市民活動		
その他の魅力		

発信場所	
<ul style="list-style-type: none"> ・区役所、市民館、図書館、こども文化センター 	
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園、学校 	
<ul style="list-style-type: none"> ・駅、スーパー、コンビニ 	
<ul style="list-style-type: none"> ・区民まつり、しんゆりマルシェなど.... 	

子育てフェスタヒアリング調査結果

実施日：平成 29 年 9 月 16 日（土） 子育てフェスタ来場者を対象に実施

回答者

女性 106 人 男性 45 人 合計 151 人

質問 1：次のイベントをどれがご存じですか？

	禅寺丸かきの柿 もぎ体験	区内で調理・キヤ ンプ体験	農業まつり	からむしなどの自 然体験イベント
	女性	29 人	27 人	24 人
男性	9 人	12 人	14 人	4 人
合計	38 人	39 人	38 人	13 人

	映画づくり体験	合唱団への参加	楽器・指揮者体 験	演劇・映像体験
	女性	21 人	36 人	20 人
男性	12 人	11 人	5 人	6 人
合計	33 人	47 人	25 人	21 人

	古風七草粥	子育てフェスタ	からむしなどの自 然体験イベント	合唱団への参加
	女性	40 人	91 人	6 人
男性	14 人	41 人	6 人	6 人
合計	54 人	142 人	12 人	22 人

〈自然と農〉	(黒川)さつま芋掘り、ハイキング 参加方法が分からない 大谷のだるま市 岡上の農園 音大、子ども向けイベン トでの自然体験
〈芸術のまち〉	アルテリッカ(10 票) 柿まつり(女2票、男1票) 子どもと一緒にのコンサート(2票) 映画屋外 上映会 三匹の子ブタ(2票) 人形劇 市民館(女1票) 昭和音大 幼児コンサート(3票)
〈市民活動〉	福祉まつり(3票) 区民まつり(7票) 桜まつり しんゆりマルシェ(3票) アート市(2票) ふるさとフェス(2票) 保育所に行っているので地域イベントに参加したことはなかった

質問2：先ほどのイベントは大きく分けて「自然と農」、「芸術」、「市民活動」に分かれて、これらを麻生区の魅力と考えているのですが、そう感じますか？

	自然と農	芸術のまち	市民活動が盛ん
そう感じる	女性	89人	77人
	男性	40人	37人
	合計	129人	114人
そう感じない	女性	4人	7人
	男性	0人	1人
	合計	4人	8人

子育て・教育が充実	小学生向けイベントが多い。幼も増やしてほしい 住みやすい、教育リテラシーの高さ 子育てサロン(5票)、子育てイベント(2票)、子育てサークル(1票) 子育ての情報 子ども育てやすい、イベント・公園参加しやすい 子育てイベントが多い(2票) 支援センターが多い 未就学の子どもと参加できるもの(2票) 子育てのしやすさ
イベントが充実している	区民まつり(女6票、男1票) 子育てフェスタのようなイベント(4票) イベントが充実している アートセンター、保育付き映画がある 神社などの地域のイベントに参加しやすい(男1票) どんと焼き 子ども関連のイベントが多い 昔ながらの伝統行事が多い(女2票) 大人の楽しめるイベント
街並み・街の活気	町がきれい(3票) まちなみ、治安は良い(女5、男1)、キーになった。子育てするにはよい 活気がある町 町がきれい(2票) まちがきれい

	駅前が良い 街がきれいに整備されている 駅前が広々している 歩道整備されている カフェなどおしゃやれな場所が多い 住みやすい(2票)
治安が良い	治安が良い(6票) 治安が良い、子育てしやすい 住みやすい、安全 治安が良い 安心・安全、住みやすい(3票)
コミュニティが充実	子育てフェスタのように、世代をこえたコミュニケーションができる 街なかでも親切に話しかけてくれる アットホーム(2票)、人がいい
市民活動が盛ん	区民活動が盛ん 活動している人達が麻生区を好きなんだと思う 市民の力が大きい 自信を持って活動している 元気な高齢者が多い ボランティア活動(5票、男1票)
公共施設・公園が充実	こども文化センター、ふるさと公園(2票) 公園が多い 図書館をよく利用(男1票) 公園が多い(女6票、男2票) 公園が多い(7票) 区役所が駅に近い
自然が豊か・都心近くの自然	自然が近いが、便利である 都心に近くて自然が多い(女1票) 自然が多い
芸術のまち	音楽イベントが多い(3票) 音楽のまち、音大等のイベントが多い(6票)
その他	市民活動がよく見えない 保育園を… 階段が多い

公園が多いわりに子供が遊びにくい
 自然と農についてはあまり知らない
 買物がもう少し便利になれば(男1票)
 芸術のまちがもうひとつグレードアップして欲しい
 子育てについて、町田市まあち、大和市の図書館。是非見学して参考
 にしていただきたい(2票)
 思いつきり遊ぶ(べる)公園、緑地であってほしい
 語学なども勉強したい、海外の方との交流などやってほしい
 交通の便が…
 住宅情報が欲しい
 時間をかけて、長いスパンであると良い

質問3：このようなイベントや区の魅力を、あなたが知るきっかけになって、詳しく調べてもらうためには、どこで、どのように発信すれば届くと思えますか？

<発信方法>

	・市政だより、区・市民館・図書館など公共施設の手ラン	・市や区のホームページ、市や区のSNS・アプリ	・お店のポスター（自宅近く、駅周辺など）	・幼稚園・保育園・学校で配布されるチラシ	・マイタウン、メディアあさお、タウンニュースなどの地域情報誌、新聞地域面、など…
女性	57人	30人	13人	53人	69人
男性	25人	5人	6人	23人	25人
合計	82人	35人	29人	76人	94人

<発信場所>

	・区役所・市民館・図書館、こども文化センター	・幼稚園・保育園、学校	・駅、スーパー、コンビニ	・区民まつり、しんゆりマルシェなど…
女性	43人	36人	25人	18人
男性	13人	9人	11人	4人
合計	56人	45人	36人	22人

コミュニティによる周知	父親の意見交換の場がほしい 口コミ
デジタルサイネージ（電光掲示板）	駅などにデジタルサイネージがあつたら良いのに デジタルサイネージ 外にあると良い（駅前等） 駅のフリーペーパー、サイネージが良い
店舗・公共施設・公共交通機関等の掲示板	いつも行く場所、掲示（女1票） 団地やまちの掲示板（バス停の前などでよく見る） 駅とかのポスターやチラシを見る 子文の掲示 バスの中 車内広告（2票） スーパーにある掲示板（女1票） バス、電車の中のポスター、中吊り（女3票、男2票） 道端の掲示板（女3票、男3票）
学校	小学校に入ると 学校
インターネット	市民個人が発信する、口コミ、SNS 検索サイトで「麻生区 子育て」でHitするようにする マイタウン 各戸配布
その他	情報が分散していて、どこを見ていいかわからない。情報の集約を！ 図書館に読書ルームが欲しい、イスが欲しい

ネットの活用	Face Book がいい アプリの充実（2票） LINE のアプリ、LINE のアカウント（女1票） 子育てに関するHP、サイトを充実させて欲しい ホームページをもっと活用して欲しい ホームページ イベント等で一度知れば、HPで調べられると思う ホームページ+ちらし
紙媒体	紙ベースの方が受信しやすい 町内会回覧（女4票、男2票） 広域に配って欲しい（女1票、男1票） 発信媒体は充実していますね！（2票） 自宅に直接配って欲しい ポステイング 市政・区政の便りで充実
コミュニティによる周知	サークルでのイベントの紹介
その他	市のアプリは情報がとりにくい、区役所のウェブサイトも同様 区・市のHPはみにくい、わかりにくい（2票） ネットだと調べづらい アプリがあることを知らなかった ポータルサイトが多すぎる 発信方法に至るまでの道筋はどうなっているのか

麻生区の成り立ち

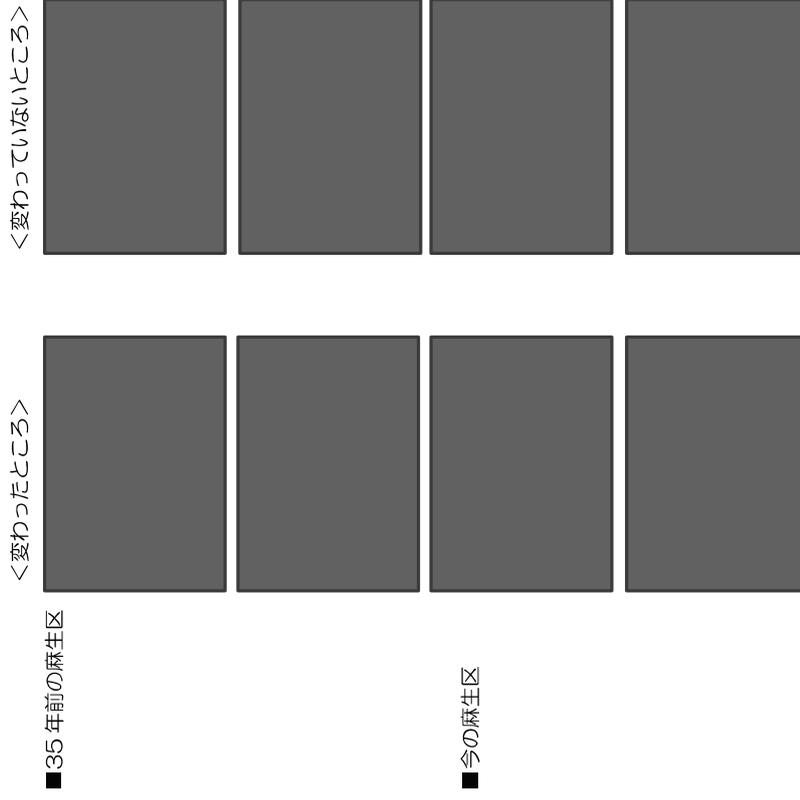
※35年くらい前の麻生区と現在の麻生区の、変わったところ、変わっていないところを写真で比較する。

ふるさとあさお

※キャッチーな冊子タイトルにする

親子で体験するともっと 楽しいあさお

興味を引くイラスト等



麻生区の魅力

※下記の文を子どもも読みやすくすることやイラスト、写真を入れてわかりやすくする。

自然と農、芸術・文化、市民活動が身近に感じられる麻生区

・麻生区は、都心に近いまちですが、田んぼや畑、里山などの緑が多く残り、芸術に関わる活動が盛ん、市民活動が盛んなまちです。

■都心近くの自然と農が残るまち

・麻生区は、都心に近いまちですが、自然が多くあり、田んぼや畑のような、なつかしい里の風景が残ります。いつでも地元産新鮮野菜を食べることができます。

■芸術・文化のまち

・麻生区は、芸術・文化のまちと言われており、芸術・文化活動が盛んなまちです。さまざまな芸術や文化活動が日々行われており、身近なところで本物の芸術や文化にふれられたり、体験して楽しむことができます。

・昭和音楽大学や日本映画大学があり、アーティストを目指す人たちが集まるまちです。また、子どもたちをはじめとした、地元の方を対象とした体験型のイベントなど、芸術・文化にふれあえる機会もあります。

■市民活動が盛んなまち

・麻生区では、他区に比べて市民活動団体が多く、ボランティア・市民活動が盛んなまちです。緑が多く残っていることや、芸術に関わる取組が盛んなのも、市民活動によるところが大きいと言えます。

・市民のまちづくり参加への意識が高いことから市民活動に参加する人が多く、区内各地で地域交流イベントなど、さまざまな活動が行われています。このようなこともあり、住みやすいまちと言えます。

■魅力を身近に感じ、参加できるまち

・麻生区は、安全で安心なまちであることに加え、さまざまな魅力が身近にあり、誰もが参加体験できます。子どもたちの情操教育に良いなど、子育て世代にも魅力のあるまちです。

麻生区の魅力体験をしませんか？

■自然と農に関わるイベント（凡例）

①0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaaa.bbbb	②0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaa.bbbb	③0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaa.bbbb
--	---	---

④0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaa.bbbb	⑤0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaa.bbbb	⑥0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaa.bbbb
---	---	---

イベントカレンダー

春	
⑦0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaa.bbbb	⑧0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaa.bbbb
⑨0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaa.bbbb	⑩0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaa.bbbb
⑪0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaa.bbbb	⑫0000イベント 内容：0000000000 場所：00000000 URL:https://www.aaa.bbbb

■ 芸術・文化のまちに関わるイベント（凡例）



(1)○○○○○イベント
 内容：○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 場所：○○○○○○○○○
 URL:https://www.aaa.bbb



(2)○○○○○イベント
 内容：○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 場所：○○○○○○○○○
 URL:https://www.aaa.bbb



夏



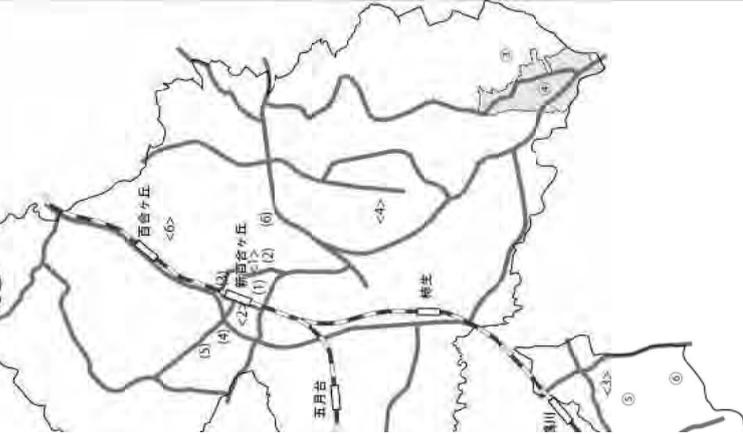
(8)○○○○○イベント
 内容：○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 場所：○○○○○○○○○
 時期：毎年6月上旬
 URL:https://www.aaa.bbb



(6)○○○○○イベント
 内容：○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 場所：○○○○○○○○○
 時期：毎年7月上旬
 URL:https://www.aaa.bbb



<8>○○○○○イベント
 内容：○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 場所：○○○○○○○○○
 時期：毎年8月上旬
 URL:https://www.aaa.bbb



秋



(9)○○○○○イベント
 内容：○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 場所：○○○○○○○○○
 時期：毎年9月上旬
 URL:https://www.aaa.bbb



(7)○○○○○イベント
 内容：○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 場所：○○○○○○○○○
 時期：毎年10月上旬
 URL:https://www.aaa.bbb



(3)○○○○○イベント
 内容：○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 場所：○○○○○○○○○
 URL:https://www.aaa.bbb



(4)○○○○○イベント
 内容：○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○
 場所：○○○○○○○○○
 URL:https://www.aaa.bbb

親子で体感 してみませんか。

親子で楽しめる
おもちゃづくり、
バルーンアート
があるよ!

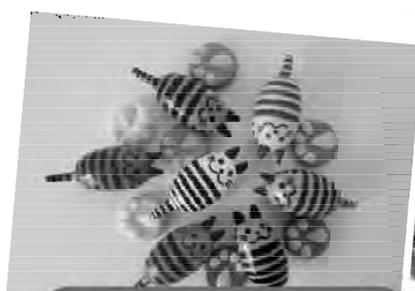


～麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう～

平成30年2月3日(土) 13:00～16:00

麻生区役所4階会議室

麻生区内に、様々な市民活動団体があることをご存知ですか？
市民活動団体を知らない、どんな活動があるかわからない、など
そんな方へ向けて、活動に触れるきっかけとなるようなフォーラムを開催します。
今回は、お子さんと一緒に楽しめるプログラムで皆様をお待ちしています。



おもちゃづくり



バルーンアート



リトミック

bless4 が登場

●bless4 とは…?

沖縄の両親を持ち、アメリカで生まれ育った正真正銘の4人兄妹
コーラス・ダンスグループ。
麻生区を拠点に活躍しており、柿生の歌「かきくけかきお」の曲
作りなど、地域に貢献している。
・代表曲「創聖のアクエリオン／Let's Have A Party」など多数。



イベントの内容

●ステージ

- ・大人も子どもも楽しむリトミック、ダンス
- ・団体の活動紹介やプレゼンテーション

●各ブース

- ・おもちゃづくり、クラフト作り
- ・バルーンアート体験、ゲームコーナー

●情報提供コーナー

- ・身近な地域の団体や施設の情報
など

「かきまるくん」から
シールがもらえるよ!



主催／麻生区区民会議

問い合わせ先／麻生区区民会議事務局
(麻生区役所企画課)

TEL044-965-5112 FAX044-965-5200

※イベント内容や参加団体は変更する場合があります。
区ホームページに最新情報を随時掲載します。

参加団体

ふらっと新百合ヶ丘／おもちゃと遊びの会／あさお和風の会／
おやじ者／グループ「せっけんの家」／ガールスカウト／
かわさきかえるプロジェクト／あさお運動普及推進員の会／
A F I C 麻生ファミリー囲碁クラブ／KAT (川満アート・テ
イメント) AM (アスレチックミュージック)

催しタイムスケジュール

時刻	ステージ	各ブース	情報提供コーナー
	催し内容 ※ 〇は実施団体	催し内容 ※ 〇は実施団体	催し内容 ※ 〇は団体名
13:00	区民会議フォーラム開会：13時00分（開会挨拶）		
13:15	ハフォーダンス 【アスレチックミュージック】	①「どんぐりで作る美しい自然動物づくり」 麻生区でとれた自然動物を使ったワークショップ 実習負担あり。 ②「おもちゃを作って遊ぼう」 おもちゃ工作は「動くハジカ」を作る、遊びは 紙さくらを材料にした「血回し」ハフォーダンス をやりまわす。実習負担あり。 ③「小さなおひな壇をつくらう」 マグネットシートを使ったおひな祭りのクラブ ト。 ④「親子でバルーンアート体験」 親子と一緒にバルーンアートを体験します。 ⑤「タコ、タコ捕がね、天まで揚がれ」 各種和風の展示、風つくりの表演、チラン配布 ⑥「AFIC 囲碁体験コーナー」 あなたも始めてみませんか。囲碁のルールの説明と、打ち 方を無料体験していただきます。 ⑦「アスレチックミュージックブース」 【アスレチックミュージック】 ⑧「リサイクルせけんをペットボトルで 作ってみよう！くっつけよう！リサイクルせ けん」 ペットボトルのなかに材料を入れて削ってもちだけ の体験をします。 ⑨「草の花プロジェクトによる地域内資源循 環の紹介」 草の資源循環による資源活用、草の活用、リサイ クルボックスによる資源活用、展示・親子料理教 室・山間授業・草の花栽培・資源回収の様子 ⑩「公園体験等の活動紹介」 公園の体験・室内体験の活動場所等の紹介 ⑪「ゲームコーナー」 【区民会議】	・チラン設置やパネル展 示等 【麻生区子ども会連合会】 【区文化センター】 【麻生区青少年指導員会】 【麻生区スポーツ推進委員 会】 その他、身近な地域の団体や 施設の情報 など
13:30			
13:35	活動発表やプレゼン 【ふらっと新百合ヶ 丘】		
13:40	活動発表やプレゼン 【おもちゃと遊びの 会】		
13:45	活動発表やプレゼン 【あさお和風の会】		
13:50	活動発表やプレゼン 【クルーゼっぺんの家】		
13:55	ハフォーダンス 【あさお運動会及推進員の会】		
14:00			
14:10			
14:30	ハフォーダンス 【アスレチックミュージック】		
14:40			
15:00	活動発表やプレゼン 【かたどろろのプロジェクト】		
15:05	活動発表やプレゼン 【おもちゃと遊びの 会】		
15:10	活動発表やプレゼン 【カールスカウト神奈川県第32団】		
15:15	活動発表やプレゼン 【麻生ファミリー運動クラブ(A.F.I.C)】		
15:20	ハフォーダンス 【あさお運動会及推進員の会】		
15:30			
16:00			

麻生区区民会議フォーラム

親子で体験感 してみませんか。

～麻生区の地域活動を知ろう・
つながろう・楽しもう～

平成30年2月3日(土) 13:00～16:00

麻生区役所4階会議室

主催 麻生区区民会議

参加団体について

あさお運動普及推進員の会

【団体の概要】
活動内容：「公園 de 健康体操」「ロコモ予防体操」
活動場所：区内4公園で週1回。
また、公園以外でも運動中心にしたボランティア活動をしています。

【団体からメッセージ】
リトミック体操⇒リズムを感じながら身体全体を表現、からだ、頭、心を育てます。ロコモ予防体操⇒大人も子供も足腰丈夫に脳トレ要素もたくさん入っているのです。リズムにあわせてのしめながら運動できます。



あさお和風の会

【団体の概要】
和風づくりを通じて子ども達に手作りの楽しさを体験させるとともに、指導する世代との交流を図り、地域の活性化に寄与する。

代表者：廣嶋 一康
連絡先：952-5112
2017年設立：会員数21名
子ども会、寺子屋等の校外活動の一環として体験会を提案し実施している。

【団体からメッセージ】
自分で作って、みんなで遊ぶ。大空へ向かってどこまでも揚がる風。こんな風を一度作ってみませんか。



ガールスカウト神奈川県第32団

【団体の概要】
カールスカウトは、自然をフィールドにした活動、地域に根付いた活動、世界とつながる活動など、年代に応じた体験活動から、少女の感性を豊かにし、さまざまな可能性を伸ばす社会教育団体です。1973年発団。問合せ先：gskanagawa32@hotmail.com

【団体からメッセージ】
麻生区を中心に現在小学校1年生～高校生までの女の子が在籍しています。市民祭り、区民まつり、募金活動や統一美化活動、野外料理やキャンプなど、盛りだくさんの活動をしています。是非、私たちと一緒に楽しく活動しませんか？



麻生ファミリー図書館クラブ(AFC)

【団体の概要】
困窮で学んだことを活かし、立派な社会人に成長することを願い、2007年設立。子ども、保護者、子育て指導員で構成。代表：熱田延雄。会場：千代ヶ丘小学校。2011年からはAFCはるひ野を開設。問合せ先(山本満代)：090-6796-4118。

【団体からメッセージ】
図書館は①集中力を高め、粘り強い思考力と創造力を育て②生涯学習、人生を豊かにするゲームと生かされています。とにかく面白いです。一度体験してみよう。



おもちゃと遊びの会

【団体の概要】
当会は、おもちゃコンサルタントが企画運営し、麻生区を中心として活動しています。おもちゃ作りや遊びの学びを通して、世代間を超えたコミュニケーション作りを目指しています。会員数は女性7名、男性3名です。

【団体からメッセージ】
いつも楽しいことを求めます。小さなお子さん連れで遊びに来て下さい。お待ちしております。



グループ「せっけんの家」

【団体の概要】
せっけんを使うことで水を汚さない暮らし方を提唱しています。特に川崎市名産品でもあるリサイクルせっけん「きなりっこ」をお薦めしています。せっけんの有効的な使い方を「せっけん出前講座」でお伝えしています。連絡先：事務局/村山美香子 299-7730。FAX:299-7731、会費：年1,000円

【団体からメッセージ】
家庭から出る残りった天ぷら油を簡単にせっけんを作ることができま。自分たちが流した水が川や海を汚さないためにせっけんを使いましょう！環境にも人にもやさしいです。



情報提供コーナー

- ・チラシ設置やパネル展示等
 - ①麻生区子ども会連合会
 - ②こども文化センター
 - ③麻生区青少年指導員
 - ④麻生区区民スポーツ推進委員会
- その他、身近な地域の団体や施設の情報 など



アンケート(ヒアリング調査)にご協力をいただいた方には、プレゼントを配布します。[先着200名]

おやし考

【団体の概要】
麻生区を中心に活動する「おやし考」で「おやし考」を称します。キヤッチコピーは「しん・かみさん・かし・地域」。原則として、毎月1回土曜日に開催。会員資格は、当初は「おやし考」であったが、近年になり、女性も入会。会員33名。年会費1,000円



【団体からメッセージ】
参加できることに自分たちでやりたいことをやる。地域との接点がある。

ふらっと新百合ヶ丘

【団体の概要】
親子で楽しめるワークショップを通して農育・食育を育むことを大切に、街の魅力を再発見していく。代表：中村ふみよ、連絡先：281-6517
2ヶ月に1回程度の日曜日に開催。詳細は「ふらっと新百合ヶ丘」で検索。



【団体からメッセージ】
「食育に繋がる、楽しい活動!」「苦手な野菜も食べてくれた!」という声も。親子でのご参加をお待ちしています。

「区民会議とは…?」

暮らしやすい地域社会をめざして、区民のみならずが中心となって参加と協働により地域社会の課題の解決を図るために調査審議する会議です。「今回のフォーラムについて」
第6期麻生区区民会議市民活動、絆づくり部会ではまだ地域活動に参加していない方に参加してもらうことを目的に審議を進めています。地域活動に興味・関心を持っていただくとともに、地域活動を知る又は体験する機会が必要であると考へ、今回の区民会議フォーラムでイベントを開催します。

アスレチックミュージック

【団体の概要】
現役アーティストbless4のもと、プロを目標して訓練・活動している。

クラス：KIDS/TEEN/ジュニアプロ/一般/プロ、
会費：約50名、会費：5,000(入会金)¥6,000(KIDS)〜¥25,000(PRO)、活動日：火〜木曜日、場所：bless4スタジオ (川崎市麻生区)



【団体からメッセージ】
世界で活躍するbless4が直々に教えるダンス・ボーカリスワールです！ぜひ遊びに来て下さい!

麻生区区民会議フォーラム 参加者アンケート

本日は麻生区区民会議フォーラムにご参加いただき ありがとうございます。
今後のフォーラムや審議の参考とさせていただきます、アンケートにご協力をお願いします。

【参加された方について】

1 参加された大人の方について教えてください。

- 性別 男性 女性
■年齢 19歳以下 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50歳以上
■職業 （専業）主婦・主夫 自営業 勤め人（フルタイム）パート・アルバイト
その他（ ）
■居住地 麻生区（町名→ ） 麻生区外（市名→ ）
■在住年数 1年未満 2～5年未満 5～10年未満 11～20年未満 20年以上

2 参加されたお子さんについて教えてください。

- 性別 男の子 女の子
■年齢 未就学児 小学校1～3年生 小学校4～6年生 中学生以上
■日中主に過ごす場所 自宅 保育園 幼稚園 学校 その他

【区民会議フォーラムについて】

3 「区民会議フォーラム」の開催をどちらでお知りになりましたか。（いくつでも）

- 区民会議ニュース チラシ（どこで ） ホームページ タウン紙
かわさきアプリ 知人 区民会議委員 その他（ ）

4 「区民会議フォーラム」の感想をご記入ください。（チェックは1つ）

- とても楽しかった 楽しかった 普通 あまり楽しくなかった 楽しくなかった
※自由コメント欄（ ）

5 どの催しがよかったですか？

- ※自由コメント欄（ ）

※このフォーラムでは、市民活動団体を知らない、どんな活動があるかわからない、などそんな方へ向けて、活動に触れるきっかけとなるよう区内の活動団体に参加してもらい、団体の活動内容や工夫している点など紹介しながら、開催しました。
上記の内容を参考に、以下の設問にご回答ください。

6 「区民会議フォーラム」に参加して、活動に興味・関心を持つことができましたか。

- とても興味・関心を持った 興味・関心を持った 普通
あまり興味・関心を持たなかった 興味・関心を持たなかった
※自由コメント欄（ ）

裏ページへ続きます→

7 「区民会議フォーラム」に参加して、団体の活動内容を知ることができましたか。

とてもよく知ることができた 知ることができた 普通

あまり知ることができなかった 知ることができなかった

※自由コメント欄 ()

8 「区民会議フォーラム」に参加して、活動を身近に感じることができましたか。

とても身近に感じるようになった 身近に感じるようになった 普通

あまり身近に感じるようにならなかった 身近に感じるようにならなかった

※自由コメント欄 ()

9 「区民会議フォーラム」に参加して、活動を始めたいと思いましたか。

すでに始めている 始めたい 普通 始めたいと思わなかった

※自由コメント欄 ()

10 どんなきっかけがあれば、地域活動に参加したいと思いますか。

イベント チラシやポスター ホームページやSNS 知人の紹介 その他

※自由コメント欄 ()

**11 今後に向けてのご意見（良かった点や悪かった点）、区民会議へのご意見・ご要望など
をご記入ください。**

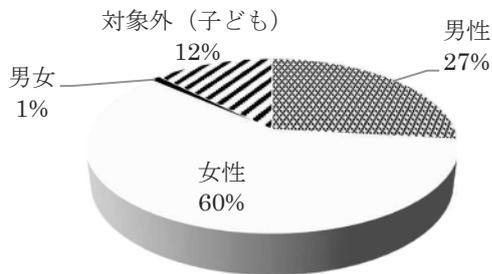
ご協力いただきありがとうございました。

(来場者アンケート集計結果・回収数97枚)

【参加された方について】

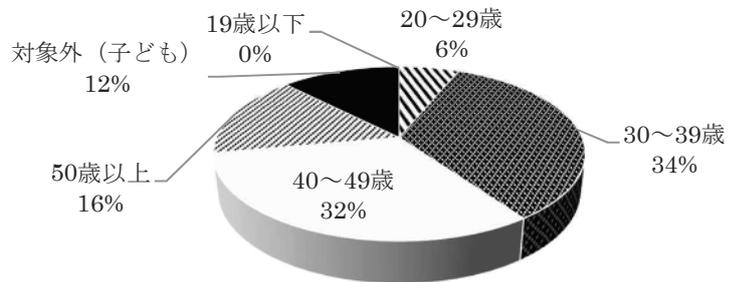
1 参加された大人の方について教えてください。

<性別>



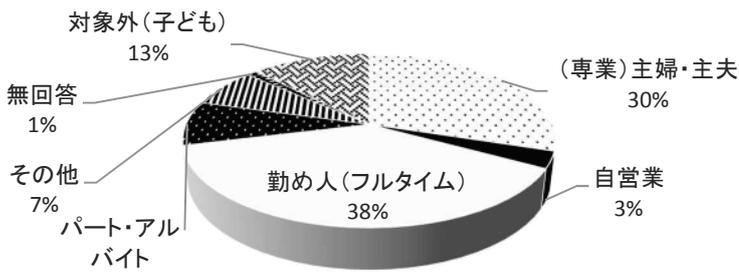
N=97

<年齢>



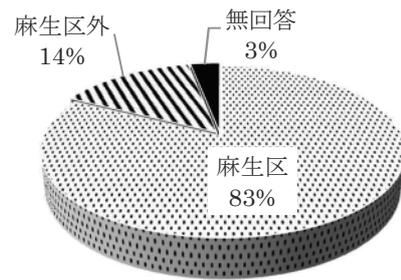
N=97

<職業>



N=97

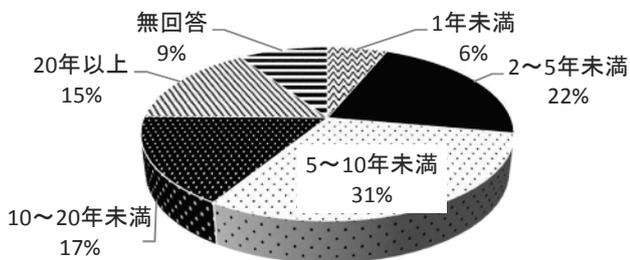
<居住地>



N=97

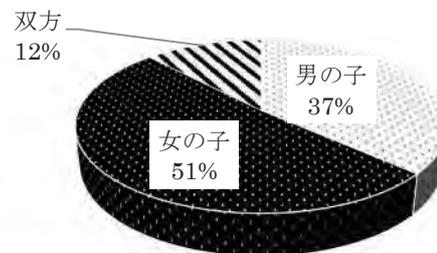
2 参加されたお子さんについて教えてください。

<在住年数>



N=97

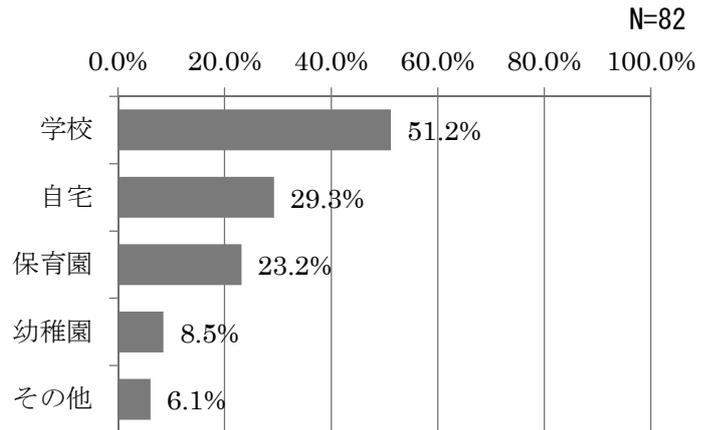
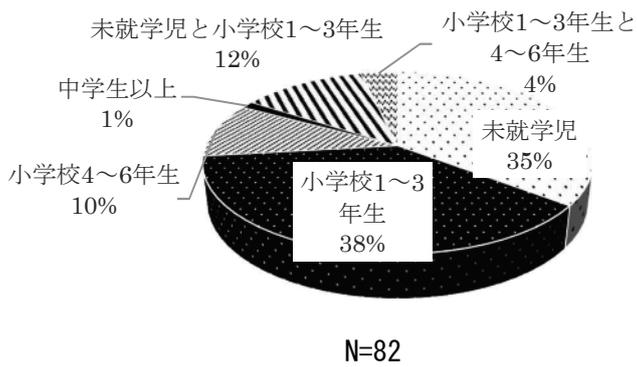
<性別>



N=82

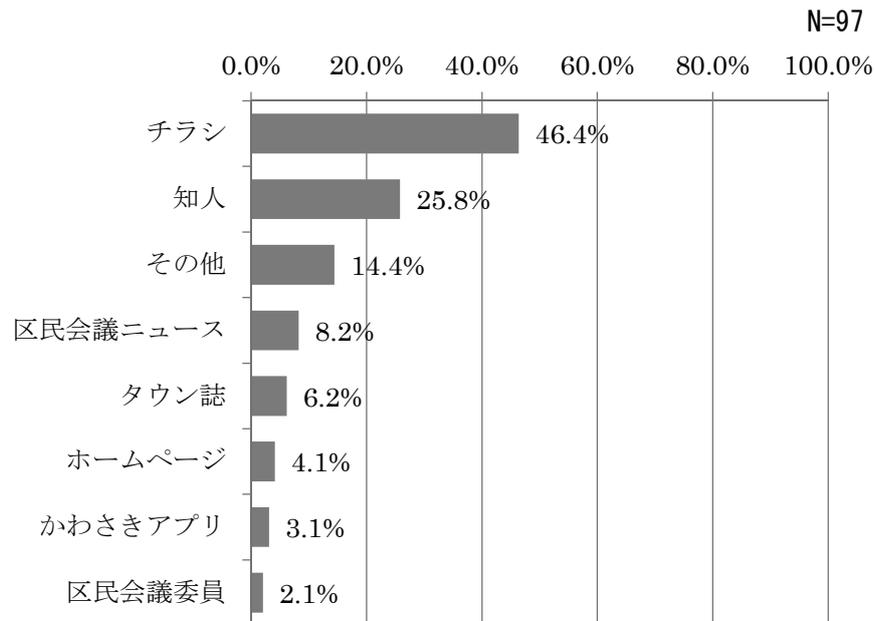
<年齢>

<日中主に過ごす場所>



【区民会議フォーラムについて】

3 「区民会議フォーラム」の開催をどちらでお知りになりましたか。(いくつでも)

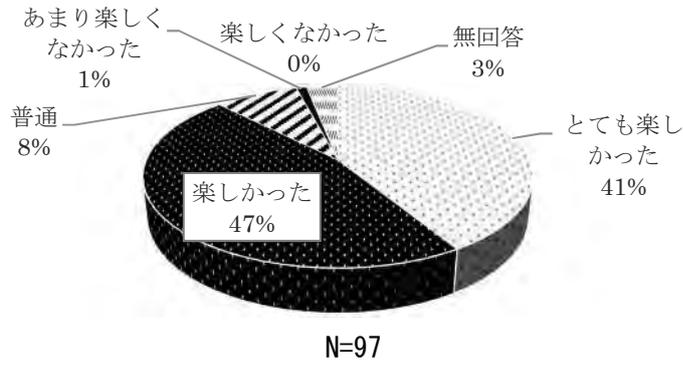


チラシ入手先	度数	相対度数
小学校	12	26.7%
保育園	4	8.9%
区役所	3	6.7%
アスレチックミュージック	3	6.7%
やまゆり	2	4.4%
図書館	2	4.4%
こ文	1	2.2%
ポスト	1	2.2%
会社	1	2.2%
自治会	1	2.2%
知人	1	2.2%
無回答	14	31.1%
総計	45	100.0%

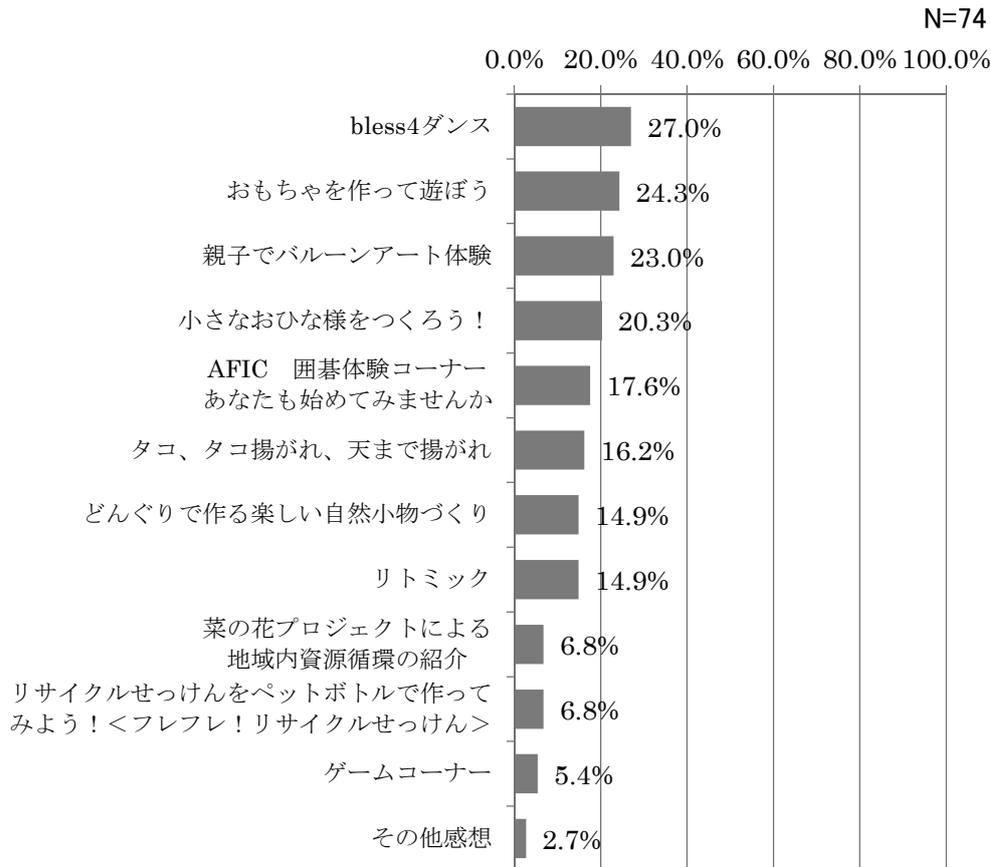
その他

媒体	度数	相対度数
ガールスカウト	5	35.7%
アスレチックミュージック	3	21.4%
フェイスブック	2	14.3%
直接の声かけ	1	7.1%
ダンスの教室	1	7.1%
回覧板	1	7.1%
図書館にきて	1	7.1%
総計	14	100.0%

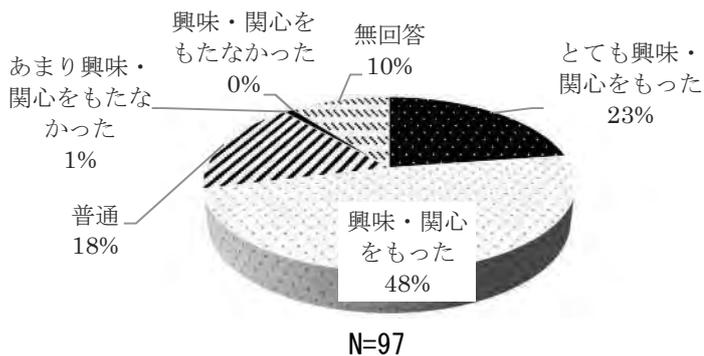
4 「区民会議フォーラム」の感想をご記入ください。(チェックは1つ)



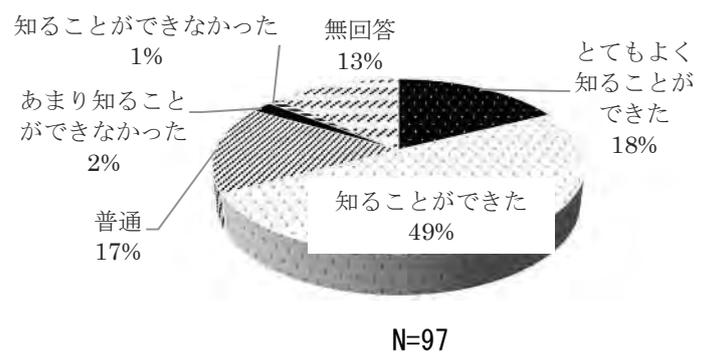
5 どの催しがよかったですか？



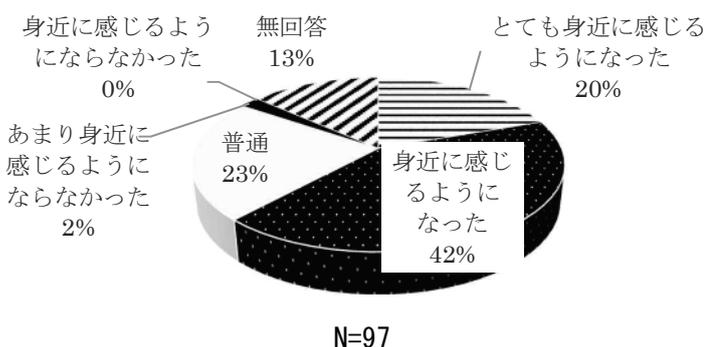
6 「区民会議フォーラム」に参加して、活動に興味・関心を持つことができましたか。



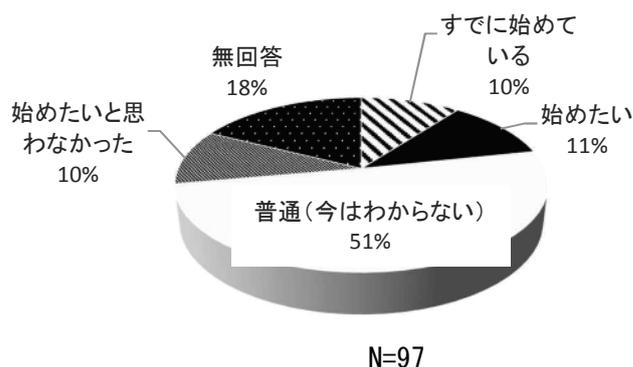
7 「区民会議フォーラム」に参加して、団体の活動内容を知ることができましたか。



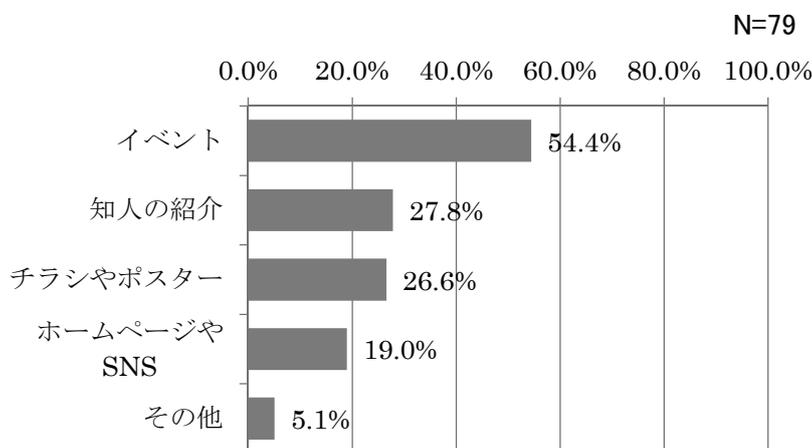
8 「区民会議フォーラム」に参加して、活動を身近に感じることができましたか。



9 「区民会議フォーラム」に参加して、活動を始めたいと思いましたか。



10 どんなきっかけがあれば、地域活動に参加したいと思いますか。



11 今後に向けてのご意見（良かった点や悪かった点）、区民会議へのご意見・ご要望などをご記入ください。

- ・ 区民が気軽に参加出来るこのようなイベントを定期的で開催して欲しい。
- ・ こういったイベントが頻繁に開催されているとより身近に感じられ、家族でも自宅からすぐに参加できるので、お出かけ先として楽しめるので助かる。
- ・ 子ども向けのイベントで良かったと思う。活動団体への若い年齢層の参加・加入が目的の1つでしょう。
- ・ みなさん一生懸命に取り組んでいて、素晴らしい。
- ・ ステージで活動発表・プレゼンをしている時、後ろのブースがざわざわしていて少しもったいないと思った。工作等の費用がもう少し安いといい。
- ・ もっと広く知られるイベントになってほしい。告知が足りないように感じられた。
- ・ 何にお金がかかるのかをチラシに書いておいてほしかった。また、スペースが狭かった。
- ・ 区民会議フォーラムという名称を変えたらいいのではないかな。もっとわかりやすくしてほしい。

麻生区区民会議フォーラム 参加団体アンケート

参加団体名 _____

1 区民会議フォーラムに参加しての感想を教えてください。

とても良かった 良かった 普通 悪かった とても悪かった
選択した項目について、具体的なご意見をお書き下さい。

()

2 今回のフォーラム全体を見て、内容、日時、参加団体等で改善すべき点、お気づきの点などはありますか。

()

3 区民会議フォーラムに参加して、参加者をつながるきっかけとなるイベントになったと感じますか。また、団体の活動内容を知ってもらうことができたと感じますか。

できた できなかった
選択した項目について、具体的なご意見をお書き下さい。

()

4 区民会議フォーラムに参加して、団体同士でつながることができたと感じますか。

できた できなかった
選択した項目について、具体的なご意見をお書き下さい。

()

5 その他、ご意見ご感想等をご自由にご記入ください。

()

ご協力いただきありがとうございました。

(参加団体アンケート集計結果・回答数10団体/参加団体10団体)

1 区民会議フォーラムに参加しての感想を教えてください。

とても良かった	2	良かった	5	普通	2
悪かった	1	とても悪かった	0		

<主な意見>

- ・他の団体の方と交流できた。
- ・麻生区で多くの活動をしている団体があることを知ることができて良かった。
- ・予想以上に参加者が多く、団体の活動を大きくPRできた。
- ・親子の参加が多かった。パフォーマンスが盛り上がりを加えてくれて良かった。
- ・開会挨拶は難しい話が多く、テーマに特化して話をしたほうがわかりやすいのではないか。
- ・参加団体の活動紹介が1団体5分では何もできないので、工夫が必要。対象が大人向けか・子ども向けか対応が難しかった。
- ・市民活動団体を知ってもらうことは、今後の麻生区の活性化のためにも、大切だと思う。
- ・親しみやすい雰囲気でしたが、全体の流れがもっとわかりやすいと良い。

2 今回のフォーラム全体を見て、内容、日時、参加団体等で改善すべき点、お気づきの点などはありますか。

<主な意見>

- ・子どもが午後は眠くなるので、午前中の開催の方が良い。
- ・今の季節、天候が気になった。会場は市民館の方が来場者は多くなると思う。
- ・ステージのマイクの音が後ろまで届かなくて、残念だった。
- ・子ども達が興味を持てるようなブースが多く、楽しむことができたと思う。パフォーマンスも、フォーラムを盛り立て、元気の出る音楽とダンスもとても良かった。
- ・区役所の入口に本日は休みですと書かれていたので、4Fまで来てもらうのに入口にもっと興味を引くような工夫（大きな看板を設置する等）が必要だと思った。
- ・あまり広報ができていなかったように思う。
- ・パフォーマンス自体は悪くないが、参加団体の内容とにぎやかな行事では、会場が同じだと違和感があった。
- ・スペースが足りなかったなので、4階全体を使うくらいで開催すべきだと思う。また、時間も足りなかったなので、初めの挨拶を開始前に行うべきだった。
- ・ターゲットが親子なのにイベント名が硬い。区役所ロビーなどを使った方が参加しやすい雰囲気になると思う。

3 区民会議フォーラムに参加して、参加者とつながるきっかけとなるイベントになったと感じますか。また、団体の活動内容を知ってもらうことができたと感じますか。

できた	9	できなかった	1
-----	---	--------	---

<主な意見>

- ・団体の活動を周知できた。
- ・参加者に知ってもらう良い機会になった。
- ・楽しさを理解してもらうことができた。

4 区民会議フォーラムに参加して、団体同士でつながることができたと感じますか。

できた	5	できなかった	5
-----	---	--------	---

<主な意見>

- ・他団体のイベントに参加して交流することができた。
- ・始まる前に他団体と話ができる機会があり、色々話を聞くことができた。
- ・他ブースをあまり見に行くことができなかった。
- ・あまり接点が取れなかった。
- ・イベント前に団体間で交流する場があると良かった。

5 その他、ご意見ご感想等をご自由にご記入ください。

- ・若い世代や子どもと直接触れ合え、有意義であった。
- ・ある範囲に上限を決めて、実費の負担があるとありがたい。
- ・第1回目なので課題はたくさんあると思うが、改善し継続して開催をしてもらいたい。
- ・開催規模を大きくし、参加する市民団体ももっと増やすべき。区民の方がただ見るだけではなく、共に参加しているという意識をもっていただけるような内容にしたほうが良い。そのためには予算の獲得が必要になると思う。色々な考えや反省点を明確にするため、アンケートは当日終了後でなく、後日提出する形がよい。



第6期区民会議がスタートしました!

～テーマを決定し、審議が本格化しています～

区民会議は、暮らしやすい地域社会を目指して、区民の皆さんの参加と協働により、地域社会の課題をみつめ、解決をするため調査・審議をする会議です。委員の任期は2年間です。

第6期となる今期は、委員長に榎木委員、副委員長に高橋委員と林委員を選出し、2つの専門部会に分かれて審議を進めています。専門部会では、過去10年間の区民会議の提言内容を振り返り、フォローが必要なものを検証した上で、今期の審議テーマを決定しました。



全体会議の様子



審議テーマ検討の様子

■どんな人が委員になっているの? *

第6期区民会議委員のプロフィールや抱負などを紹介します。(敬称略・順不同)
氏名(ふりがな) ①お住まいの地域、②選出元、③麻生区のことが好き、④区民会議の意気込み等を一言



榎木 昌昭 (うえき まさあき) ★委員長★
①上麻生 ②区長推薦
③適当に都合、適当に田舎なところ
④区民会議も10年経過したので、今までに議論した内容を今期は精査し、精が凝した課題を掲げたい。



高橋 慶子 (たかはし けいこ) ★副委員長★
①千代ヶ丘 ②麻生区町会連合会
③緑の原観・人が優しい・文化・芸術の香り
④区内には、数多くの区民活動・ボランティア活動が盛んに行っています。皆様にも情報提供の場を企画していきたい。



林 恵美 (はやし えみ) ★副委員長★
①金程 ②公職
③市民活動が盛ん
④菜の花プロジェクトを中心に地域資源循環をすすめる市民活動をしています。住み暮らし地域の理解促進には、市民が参加して区と協働するからこそ、市民の声が活かされると思い手をあげました。麻生区の魅力をさらにアップする提言につなげるように進めていきます。

■専門部会に分かれて活動しています!

(仮称) 市民活動・まちづくり検討部会

多くの麻生区民が、地域活動に参加するための方法を検討し、区民が地域の担い手の一員である意識を持ってもらうようにするため、

審議テーマを「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」として、解決策を調査・審議していきます。

(仮称) 麻生区の魅力の発掘・発信検討部会

部会長に林委員、副部会長に高橋委員を選出し、子どもを含めた若い世代が、これからも麻生区に住み続けてほしいということから、

審議テーマを「ふるさと麻生づくり～愛着と誇りの醸成～」として、解決策を調査・審議していきます。

企画部会

委員長、副委員長や専門部会の部会長等で構成され、区民会議の広報・広聴や課題整理等を行っています。部会長は高橋委員、副部会長は林委員を選出しました。今後とも区民会議の広報を図っていきます。また、区民会議へのご意見も受け付けております。皆様のご意見をぜひお寄せください。

委員紹介

氏名(ふりがな) ①お住まいの地域、②選出元、③麻生区のことが好き、④区民会議の意気込み等を一言



安藤 和彦 (あんどう かずひこ)
①片平 ②JAせしカ川崎
③生まれ育った町
④古くから住んでいる人と、新たに移り住んで来た人を、職業を通じて結びつけていきたいです。



石井 よし子 (いしい よしこ)
①下麻生 ②里山フォーラムin麻生
③多摩丘陵上のみで、多様な人々が一所懸命に暮らしていること。里山と人々の多様な関わりがあること。
④自然や歴史を大切にしながら、若者男女誰もが地域づくりの当事者として、幸せ感を抱き暮らすよう努めたいと思います。

榎方 保

榎方 保 (おがた たもつ)
①王禅寺西 ②麻生区交通安全対策協議会
③治安の良い所 安心・安全に住みやすいところ
④行政と協力し頑張る。

海崎 真

海崎 真 (かいさき まこと)
①東山台 ②公職
③品格の高いコミュニティで、文化・芸術、自然に親しめる安全な街であること。
④強みを深めるとともに、ボランティア等の強みも活用し、区民レベルでの「仲間づくり・絆づくり」を進め、麻生区ならではの発展を目指したい。

佐藤 昇平

佐藤 昇平 (さとう しょうへい)
①片平 ②麻生区青少年指導員会
③自然が多く歴史がある街
④麻生区の魅力と楽しさの発信

佐野 幸子

佐野 幸子 (さの さちこ)
①千代ヶ丘 ②麻生区社会福祉協議会
③緑の多い環境と成熟した空気感
④「ずっと住み続けたいまち」と思えるような地域づくりに向けて委員の皆様と一緒に考えていきます。

菅野 明

菅野 明 (すがの あきら)
①細山 ②区長推薦
③里山の風景があり、なお芸術のまちである。
④若い世代が住みやすいまちづくり

鈴木 昭弘

鈴木 昭弘 (すずき あきひろ)
①上麻生 ②区長推薦
③歴史と新しさが出ている。
④今初めて区民会議に参加させていただいておりませんが、誇先輩方と共に、麻生区がよりの魅力ある街になるように、頑張りたいと思います。

■ 第5期区民会議の提言を受けた取組がはじまっています！

● 気軽に市民活動団体を調べられます！

第5期区民会議では、「ボランティアの活動促進」をテーマの一つにし、「誰もが気軽にボランティアに参加できる仕組みづくり」を目標に審議を行い、「ボランティア参加のネットワークを構築すること」、「ボランティア情報の効果的な発信とともに、情報の一元化の取組を進めること」などを提言しました。

この提言を実現するための取組の一環として、平成29年4月から、麻生区内の市民活動団体を検索できるサイトがオープンします。自宅のパソコンやスマートフォンなどで、活動分野、活動日、費用など、自分の条件に合った団体の情報を調べられます。ぜひご利用ください。



区HPから [麻生区市民活動団体検索サイト](http://asao-act.org/) で検索 (<http://asao-act.org/>)



■ 傍聴にきませんか？

～今後の区民会議開催スケジュール（予定）～

会議名	全体会	企画部会	(仮称)市民活動・絆づくり検討部会	(仮称)麻生区の魅力の発信・発信検討部会
日時	7月18日(火)	5月8日(月)	4月27日(木)	4月11日(火)
	11月21日(火)	6月12日(月)	5月25日(木)	5月9日(火)
	30年2月20日(火)	7月10日(月)	6月22日(木)	6月13日(火)

※会場はいずれも麻生区役所会議室の予定です。詳細は区HPをご覧ください。

審議テーマ等についてのご意見・ご提案・ご要望をお寄せいただけますよう、お願いいたします。この用紙をFAX、郵送又は直接区役所へご持参いただくか、Eメール（様式は問いません）でお願いします。

第6期区民会議事務局（麻生区役所企画課）宛て

(FAX 044-965-5200、Eメール: 73kikaku@city.kawasaki.jp)

審議テーマについて等、自由にご記入ください。(別紙でも構いません。)

～ご自身についてお答えください（それぞれに○をお願いします）～

- 住所 麻生区内 () 区 麻生区外 () 市 区
- 年齢 20歳未満 ・ 20～29歳 ・ 30～39歳 ・ 40～49歳 ・ 50～59歳 60～69歳 ・ 70～79歳 ・ 80歳以上

関根 秀勝 (せさね ひでかつ)

- 1 千代ヶ丘 2 区長推薦
- 3 四季を感じる麻生の活動、「百歳は一見こいやす」とあり、その魅力を体感していただくことを強くオススメします。
- 4 魅力ある麻生の110年、20年先の人口、年齢層、環境（自然、美観）等の変化を思い、健康長寿を共にしたい。



長岡 さや (ながおか さや)

- 1 百合丘 2 区長推薦
- 3 都心から近いにも関わらず、里山の原風景が残されており、静寂の収穫もできれば芸術・文化にも触れられる。
- 4 勉強に立ってようがんばります。



松田 基久乃 (まつだ きくの)

- 1 麻生区 2 区長推薦
- 3 麻生川の桜並木、芸術や文化に触れる機会が多いところ。
- 4 自然豊かで市民活動の盛んなこの街の魅力を、より多く知っていただき、住みやすく楽しい街づくりを、発信していきたいと思えます。



古垣 君子 (よしがき きみこ)

- 1 王神寺東 2 区長推薦
- 3 季節が別と目で感じられる。
- 4 麻生区内の魅力やイベント情報が、区内に住んでいる方にとのようについでできるか考え、麻生区に住んで「良かった・楽しい」と思っている方に、より力をお貸ししたいと思えます。



鈴木 隆広 (すずき たかひろ)

- 1 白旗 2 区長推薦
- 3 緑の多さと豊富な社会資源があるところ
- 4 区民である以上、区民としてできることをしっかりと行っていきたいと思えます。



高倉 秀敏 (たかくら ひでとし)

- 1 高石 2 区長推薦
- 3 緑が多く、街が綺麗なおところ
- 4 区民会議委員3期目の経験を活かし、麻生区の魅力を再発見し、麻生区の発展につなげていきたい。



橋本 周 (はしもと いだる)

- 1 栗木 2 麻生区文化協会
- 3 豊かな自然環境と、生の芸術文化に触れる機会に恵まれている。
- 4 幼少からシニアまでが安心・安全で豊かな生活を送れる街、また、人々に誇りと地域への愛着が生まれる街をめざし、人が出会い、共生活する街づくりに取り組みたい。



松田 通 (まつた みち)

- 1 千代ヶ丘 2 公選
- 3 昔ながらの自然と芸術が掛け合う活がある街
- 4 高齢化が進む中で安心安全に住める街づくり、地域住民のあらゆる年齢層が交差し掛け合って生き生きと暮らせる住みやすい街づくりに取り組みたいです。



■ 第6期麻生区区民会議委員（所属部会別）

(仮称) 市民活動・絆づくり検討部会	(仮称) 麻生区の魅力の発信・発信検討部会
植木 昌昭 (区長推薦) [委員長] 船方 保 (区長推薦) (麻生区交通安全対策協議会) 海崎 隆平 (公選委員) 佐藤 幸子 (麻生区青少年指導員会) 佐野 幸子 (麻生区社会福祉協議会) 〇鈴木 隆広 (区長推薦) 関根 秀勝 (区長推薦) 高橋 慶子 (麻生区司法連合会) [副委員長] 松田 通 (公選委員)	安藤 和彦 (セレサ川崎農業協同組合) 石井 よし子 (里山フォーラムin麻生) 菅野 明 (区長推薦) 鈴木 昭弘 (区長推薦) 〇高倉 秀敏 (区長推薦) 長岡 さや (区長推薦) 橋本 周 (麻生区文化協会) [副委員長] 〇林 恵美 (公選委員) (区長推薦) 松田 基久乃 (区長推薦) 古垣 君子 (区長推薦)

(五十音順)

◎ 一部会長 ○ 二部副会長

麻生区区民会議ニュース 第6期 Vol.2

平成 29年6月16日発行

発行/麻生区区民会議 編集/企画部会
事務局/麻生区役所まちづくり推進部企画課
電話：965-5112 FAX：965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp



地域課題の解決に向けて 審議を進めています！

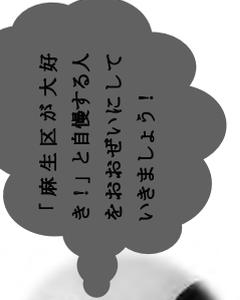
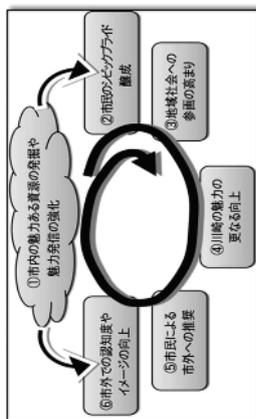
平成 28年 7月にスタートした第6期区民会議は、現在、「麻生区の魅力の発掘・発信検討部会」と「市民活動・絆づくり部会」の2つの専門部会ごとに調査・審議を進めています。今号では、各専門部会の部長から、取組内容をご紹介します。

★麻生区の魅力の発掘・発信検討部会★

第5期麻生区区民会議の「若い世代が住みやすいまちづくり部会」の提言をさらに深めるため、「ふるさと麻生づくり～愛着と誇りの醸成～」をテーマに審議を進めています。

1. 魅力の発掘
「麻生区として重点的に発信すべき魅力が」「麻生区独自の魅力が」という観点に立って整理し、“自然と農”、“芸術のまち”、“市民活動（市民活動が盛ん）”の3点を中心に発信することを検討しています。
2. 発信の目的
子どもを含めた若い世代が、麻生区の魅力を発見し、麻生区に住み続けたいと思うことで、活気のあるまちづくりをめざします。
3. 発信の対象
特に新しく麻生区に住み始めた子育て世代に、ふるさととしての魅力を感じ好きになってもらうことで、子どもたちが大きくなって住み続けたいと思うことをめざします。
4. 今後の討議の方向性：魅力の発信方法を検討し、発信の主体（5期提言の魅力PR委員会）の具現化等を検討していきます。

サイクルの考え方
(川崎市シティプロモーション戦略策定プラン抜粋)



林惠美 部会長

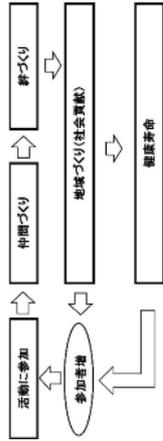
「区民に区好きになってもらう」→「区民がまちづくりに参加する」→「区の魅力のさらなる向上」→「区民による区外への推奨」→「区外での認知度やイメージの向上」のサイクルの仕組めを検討する。

市民活動・絆づくり部会

より多くの麻生区民が、地域活動に参加するための方法を検討するとともに、区民が地域の担い手の一員である意識を持ってもらうようするため、「活動による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」をテーマに審議を進めています。

1. 担い手づくりのサイクル
地域活動に参加して、仲間ができ、絆が生まれ、地域が活性化し、そのような活動によって健康寿命を長くすることができるようなサイクルを麻生区でどのように具体化するかを検討しています。
2. 具体的な審議内容
まずは、普段活動へ参加していない人に地域活動に関心を持ってもらうため（担い手づくりのサイクルに乗ってもらうこと）の「動機」や「きっかけ」をどう作るかを検討しています。

＜担い手づくりのサイクルのイメージ＞



区民の皆様が
“仲間づくり”“絆づくり”
“地域づくり”
の第一歩を踏み出すことが
できるような取組を
検討します。



鈴木隆広 部会長

～区民会議に寄せられたご意見について～

《区民の皆様からいただいたご意見》

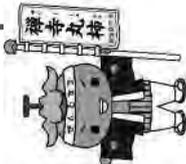
麻生区民が今、解決を求める課題を調査し、その解決の方向性を提言するのが区民会議だと思いが、向部会の取組内容が分かりづらい。

《区民会議からの回答》

当区民会議に貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。審議テーマが決定し、現在、各専門部会で具体的な審議を行っています。今後の区民会議にご期待ください！

区民会議情報

- 次回の区民会議全体会は、7月18日(火)15時から区役所4階第1会議室で開催します。区民会議はどなたでも傍聴可能です。ご興味のある方は、ぜひ、お越しください。
- 区民会議に対するご意見・ご要望などお寄せください。今後の議論の参考にさせていただきます。



【お問い合わせ先】

〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1 麻生区役所企画課

電話:044-965-5112 FAX:044-965-5200 Eメール:73kikaku@city.kawasaki.jp

平成29年11月16日発行

麻生区区民会議ニュース 第6期 Vol.3

発行/麻生区区民会議 編集/企画部会
事務局/麻生区役所まちづくり推進部企画課
電話：965-5112 FAX：965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp



暮らしやすい地域づくりにむけて、審議を深めます！

区民会議では、二つの部会を設置して、具体的な提言に向けて調査審議を進めています。「麻生区の魅力の発掘・発信検討部会」では「あさお子育てフェスタ」でアンケート調査を行い、これまで検討を進めてきた内容が実情に合っているかを検証しました。「市民活動・絆づくり部会」では区民会議フォーラムを開催します。

★麻生区の魅力の発掘・発信検討部会の取り組み状況★

あさお子育てフェスタでアンケート調査を行いました。

当部会では、「ふるさと麻生づくり～愛着と誇りの醸成」をテーマに、子どもを含めた若い世代が、麻生区にふるさととしての魅力を発見し、住み続けたいと思うことで、活気あるまちづくりにつなげることを目指しています。

9月16日に開催された第4回あさお子育てフェスタにおいて、参加された子育て世代の方々にご協力をいただき、麻生区の魅力やその発信に関するご意見を同ヒアリングによるアンケート調査を行いました。

アンケート集計から、次のことが分かりました。

- ＜アンケート人数 151人＞
- 麻生区内で開催されている自然や農、芸術に関する個々のイベントについては、あまり知られていないようですが、麻生区の魅力の大きな柱として、「自然と農」、「芸術のまち」、「そして魅力の発信の担い手としての「市民参加が盛ん」については、認知は高いことが分かりました。
- その他の魅力として「子育て教育環境」、「街並み・まちの活気」、「治安がよい」とのご意見が多数ありました。
- 情報を受け取りやすい発信方法については、「市政だより、市民館・図書館などの公共機関のチラシ」、「地域情報誌、新聞の地域版」、「幼稚園、保育園、学校等での配布情報」が挙げられました。
- 情報を受け取りやすい場所については、「区役所、市民館・図書館、こども文化センター」、「幼稚園、保育園、学校」が挙げられ、情報の信頼度にも考慮していることが分かりました。

今後は麻生区の魅力の具体的な発信方法と、発信の主体づくりに向けに検討を進めて提言につなげていきます。



多くの方々に区民会議ブースにお立ち寄りいただきました。



熱心にご回答いただきました。

市民活動・絆づくり部会の取り組み状況

地域活動を知り、つながるための区民会議フォーラムの開催に向けて調査・審議を進めています。

当部会では、「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」をテーマに、麻生区内でまだ地域活動に参加していない方に参加していただくことを目指しています。

今回、部会で審議を重ねた結果、地域活動に興味・関心を持っていただくためには、地域活動を知る機会又は体験する機会が必要であると考え、「区民会議フォーラム」で地域活動を知り、つながるためのイベントの開催について検討を進めています。特に幅広い世代の方々に参加いただきたいという思いから、子育て世代にも参加しやすい内容にしたいと考えています。皆様のご参加をお待ちしています。



部会での調査・審議の様子

＜区民会議フォーラムについて＞

- 1 趣旨：麻生区内の地域活動を知っていただき、イベントに参加した人に身近に感じてもらうことにより、地域活動に関心を持ち、目を向けていただくことで、地域とつながるきっかけとなるようなイベントとします。
- 子育てしながらの活動の楽しさ、団体が活動するため工夫している点等を知る機会とします。
- 子育て世代が参加しやすい仕掛けを行い、地域活動に興味・関心を持っていただく。
- 2 テーマ：「麻生区地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう」
- 3 日時：平成30年2月3日（土）13時～16時、場所：麻生区役所会議室（予定）
- 4 プログラム：区内の市民活動団体による体験ブース、ステージでの活動発表・プレゼンテーション、情報提供コーナーなど

～区民会議に寄せられたご意見について～

当区民会議に貴重なご意見、ご提案等をお寄せいただき、ありがとうございます。各委員は、寄せられたご意見やご提案等を共有し、審議の参考にさせていただきます。最近のご意見等の要旨を紹介します。

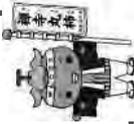
《区民の皆様からいただいたご意見》

- 市民活動を通じて区の魅力を広めることが重要なので、区民会議メンバーが中心となり、具体的に進めてほしい。
- 市民活動・絆づくり部会で審議されているイベントは、老人いこいの家や自治会館、町内会館など地域の施設を利用して開催すると良いのではないか。
- 病院・飲食店・駅頭等、多種多様な場所に案内ポスターやチラシを置いて、地域活動への参加を呼びかけると良いのではないか。

■ 区民会議に対するご意見・ご要望などお寄せください。今後の議論の参考にさせていただきます。

【お問い合わせ先】〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1 麻生区役所企画課

電話:044-965-5112 FAX:044-965-5200 Eメール:73kikaku@city.kawasaki.jp



麻生区区民会議ニュース 第6期 Vol.4

平成29年12月22日発行

発行／麻生区区民会議 編集／企画部会
事務局／麻生区役所まちづくり推進部企画課
電話：965-5112 FAX：965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp



麻生区区民会議フォーラム

親子で体感
してみませんか。

親子で楽しめる
おもちゃづくり、
バルーンアート
があるよ！



～麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう～

平成30年2月3日(土) 13:00～16:00

麻生区役所4階会議室

麻生区内に、様々な市民活動団体があることをご存知ですか？
市民活動団体を知らない、どんな活動があるかわからない、など
そんな方へ向けて、活動に触れるきっかけとなるようなフォーラムを開催します。
今回は、お子さんと一緒に楽しめるプログラムで皆様をお待ちしています。



バルーンアート



おもちゃづくり



リトミック



イベントの内容

- ステージ
・大人も子どもも楽しむリトミック
・団体の活動紹介やプレゼンテーション
- 各ブース
・おもちゃづくり、クラフト作り
・バルーンアート体験、ゲームコーナー
- 情報提供コーナー
・身近な地域の団体や施設の情報
など

「かきまるくん」から
シールがもらえるよ！



主催／麻生区区民会議

※イベント内容や参加団体は変更する場合があります。
区ホームページに最新情報を随時掲載します。

参加団体

ふらっと新百合ヶ丘／おもちゃと遊びの会／あさお和風の会／
おやじ考／グループ「せっけんの家」／ガールスカウト／
かわさきかえるプロジェクト／あさお運動普及推進員の会／



麻生区区民会議7フォーラム

「麻生区の地域活動を

知ろう・つながろう・楽しもう」を開催しました！



約300人が来場！

会場は開始から終了まで賑わっており、多くの親子が楽しむ姿が見られました。多くの方々にご来場いただき、ありがとうございます。



開催概要

- 日時：平成30年2月3日(土) 13時00分～16時00分
- 場所：麻生区役所4階会議室

参加団体

ふらっと新百合ヶ丘/おもちやと遊びの会/あさお和風の会/おやしき/カールスカウト/グループ「せっけんの家」/かわさきかえるプロジェクト/あさお運動普及推進員の会/麻生ファミリー囲碁クラブ(AFC)/KAT(川崎アー・ト・テイメント)AM(アスレチックミュージック)

当日のイベント内容

【ステージでのパフォーマーダンス、各団体の活動発表・プレゼンテーション】

会議室前方に設置したステージでは、「bless4とアスレチックミュージック」の生徒によるコーラス・ダンスパフォーマンス、「あさお運動普及推進員の会」によるリトミック体験などが行われ、会場を盛り上げました。また、各団体によるプレゼンテーションを行い、団体の活動を知ってもらう機会となりました。



【市民活動団体の活動体感コース】

麻生区で活動する団体のブースをつくり、そこで体験型の催し(おもちゃづくり、クラフト、バルーンアート体験、餅づくり、囲碁体験、地域内資源循環の活動PR等)を行い、参加者に団体の活動内容を体感してもらい機会をつくりました。



【情報提供コーナー】

チラシ設置やパネル展示等で身近な地域の団体や施設の情報などをお知らせしました。



●来場者アンケート結果について

■活動に興味・関心を持つことができた⇒「71.2%」
■団体の活動内容を知ることができた⇒「67%」
■活動を身近に感じることができた⇒「61.9%」
■活動を始めたいと思ったか⇒「始めたい11.3%」「普通(どちらでもない)50.5%」
■どんなきっかけがあれば参加したいか⇒「イベント54.4%」「知人の紹介27.8%」

《アンケート結果等を踏まえて、部会で検証》

- ・参加者に「活動に興味・関心を持ってもらうこと」、「団体の活動内容を知ってもらうこと」、「活動を身近に感じてもらうこと」については、区民会議フォーラムのようなイベントは有効であるとわかった。
- ・「活動を始めたいと思ったか」については、半数が「普通(どちらでもない)」と回答しており、この方たち在今后活動に参加をしたいと思いますという意識がつけくり(1回きりのイベントでは難しいため、継続することや既存イベントの活用等)が必要となる。
- ・このようなイベントに興味・関心がある人が潜在的に居ることがわかるので、イベントの開催は、地域活動に参加する人の発掘につながると思われる。

～区民会議に寄せられたご意見について～

《区民の皆様からいただいたご意見(要旨)》

今回のフォーラムでイベントが効果的であることが確認されたようです。参加者を絞ったイベントを、継続して開催されるような提言をお願いします。

《区民会議からの回答》

当区民会議に貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。提言作成の際の参考にさせていただきます。

区民会議を傍聴しませんか？

第6期区民会議の議論もいよいよ大詰めです。

当日は、各部会からの提言の報告などを行います。

区民会議はどなたでも傍聴可能です。ご興味のある方は、ぜひ、お越しください。

■日時 5月15日(火) 15時から

■場所 麻生区役所4階第1会議室



麻生区区民会議ニュース

第6期 Vol.6 【提言概要版】

発行/麻生区区民会議 編集/企画部
 事務局/麻生区役所まちづくり推進部企画課
 電話：965-5112 FAX：965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp

平成30年6月13日発行



第6期区民会議の提言まとまる!



▲提出された報告書



▲植木委員長から多田区長に報告書を提出

平成28年7月にスタートした第6期麻生区区民会議は、平成30年5月15日（火）に最後となる全体会議（第7回）を開催しました。これまでの調査審議の経過や取組、提言などを内容とする第6期麻生区区民会議報告書「心がかよ魅力あるまち あさお」を全体会議において取りまとめました。会議終了後、植木委員長から多田麻生区区長に報告書を提出しました。

第6期麻生区区民会議では、第1期から第5期までの課題等を整理した上で、抽出された麻生区内の地域課題をもとに、ワークショップ（ワールド・カフェ方式）を行い、区民にとって関心が高く、特に対策が必要なテーマである「麻生区の魅力の発掘・発信」と「市民活動・絆づくり」の2つの専門部会に分かれ、審議を重ねてきました。

今号では、2年間の調査・審議結果をもとにそれぞれの部会から生まれた提言の概要等について皆様にお知らせします。



▲第6期区民会議委員

報告書は7月以降、麻生区役所企画課窓口で配布する他、区のホームページからもご覧いただけます。

麻生区区民会議

検索

1 「麻生区の魅力発掘・発信検討部会」からの提言

麻生区の魅力発掘・発信検討部会では、今後の超少子高齢社会を見据え、子どもを含めた若い世代が麻生区に愛着を持ち、これからも麻生区に住み続けたいと思ってもらうために、「麻生区に住む子育て世代を対象」とし、区の魅力を伝えることについて、検討してまいりました。具体的には、「自然と農」、「芸術・文化」のまち、「市民活動が盛ん」という麻生区の魅力について、どのように発信すれば、広く知らしてもらい、関心を持ってもらえるか調査審議を行いました。

その結果、魅力を発信していくために、「子育て世代に向けた情報発信の強化」と、そのための「魅力伝えるための情報発信媒体」が必要であると考えました。今後、麻生区の魅力発信を進めていくため、これら二つの方向性から、三つの提言を取りまとめました。

I 子育て世代に向けた情報発信の強化

提言1 子育て世代に向けた情報発信を強化することを提案します。

○子育て世代に、このまちに愛着を持ち、住み続けたいと思ってもらうために、「麻生区の魅力」の情報発信を強化していくことが重要と考えます。そのためには、単純な情報発信だけではなく、既存の冊子やチラシ、各種団体等の魅力発信活動などと結びつけ、魅力を知ってもらうためのきっかけをつくることを目標とした情報発信が必要と考えます。

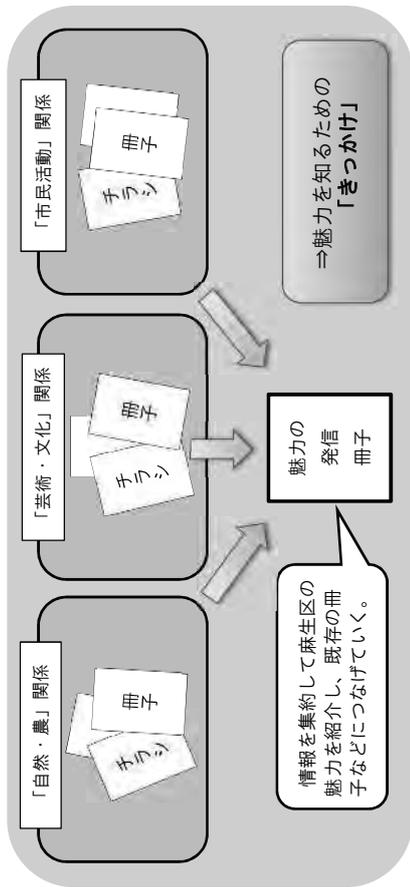
○このために、麻生区の魅力を横断的につなげて、継続して発信する組織が必要であると考えます。

II 魅力をつなぎ合わせて発信する媒体の作成

提言2 魅力をつなぎ合わせて発信するための冊子の作成を提案します。

○麻生区の魅力は「自然・農」「芸術・文化のまち」「市民活動が盛ん」であることと考えますが、これらを別々に発信すると麻生区全体の魅力が伝わりにくいと思われるため、麻生区の魅力をつなぎ合わせて発信する媒体が必要と考えます。

○子育て世代にヒアリング調査をしたところ、ホームページやSNS等を使用した情報発信が望ましいという人もいましたが、現時点では、紙媒体での情報発信を望む声の方が多かったことから、魅力と繋ぎ合わせて発信する媒体の一つとして、魅力を発信するための冊子の作成を提案します。



提言3 冊子の作成にあたり、編集委員会の立ち上げを提案します。

○麻生区の魅力発信にあたっては、市民と行政との協働で実施することが有効と考えます。
 ○冊子の編集にあたっては、区民会議委員の有志や、関心がある区民等を募って準備会を組織し、編集委員会を立ち上げることを提案します。

2 「市民活動・絆づくり部会」からの提言

市民活動・絆づくり部会では、「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」をテーマにまだ活動に参加していない区民が地域活動に参加していくための方法を審議してきました。

具体的には、「地域活動を通じて仲間ができ、絆が生まれ、地域が活性化します。そして、そのような活動によって社会貢献をする意識が高まり、地域づくりへの参加者が増えていく」という「担い手づくりのサイクル」をどのようにして具体化していくかについて、検討しました。

調査審議の結果、「担い手づくりのサイクル」を具体化していくためには、「地域活動へ参加するきっかけとなる機会を作ること」や「地域活動に興味・関心を持ってもらうために、実際の活動を体験できる機会を作ること」、「市民活動団体同士の連携」が必要であると考え、麻生区の市民活動を活性化し、仲間づくりや絆づくりを進めていくために、四つの提言を取りまとめました。

今後、行政等がイベントを開催するにあたっては、「担い手づくりのサイクル」の趣旨やその重要性を認識していただき、イベント参加を契機に区民が地域活動に参加や興味を持ち、地域活動が活性化していくことを望みます。

提言1 活動参加への「きっかけとなる機会づくり」につながるイベントを開催していくことを提案します。

○第6期区民会議フォーラムは、「麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう」を開催のテーマとして、審議テーマである「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」の担い手づくりのサイクルの試行として開催しましたが、300人を超える方々が来場しました。

○アンケート等による検証結果をみると、活動団体のアース等で体験してもらったことにより、地域活動への興味・関心を深め、身近に感じてもらえることがわかりました。

○このようことから、「活動参加へのきっかけとなる機会」の一つの方法として、区民と協働によるイベント等を開催することは有効であると考えます。

提言2 既存イベントに「担い手づくりのサイクルの具体化」の趣旨を盛り込んで開催していくことを提案します。

○麻生区では、区民まつり、子育てフェスタ、福祉まつりなど1年を通してたくさんイベントが開催されていますが、新たに一つイベントを増やすことは、区民へのわかりやすさや運営者の負担などの課題があります。

○このようことから、「活動参加へのきっかけとなる機会」に関わるイベントは、新たに増やすのではなく、既存のイベントに活動団体を紹介する機会をつくるなど、「担い手づくりのサイクルの具体化」の趣旨を盛り込んでもらいたい、開催することが必要であると考えます。

提言3 年代・世代などターゲットを絞ったイベントを開催していくことを提案します。

○多くの区民に地域活動への興味・関心、楽しさを知ってもらうためには、年代などターゲットを絞って伝えることが効果的であることがわかりました。年代等ごとにそれぞれ対象に合った「活動参加へのきっかけとなる機会」が必要です。

○第6期区民会議での審議においては、区民会議フォーラムを通じて、「小学校低学年以下の子どもを持つ子育て世代」を対象にイベントを行うことにより、その親など多世代に波及することがわかりましたので、親子で活動を体験できるようなイベント等を開催することが効果的と考えます。

提言4 市民活動団体同士の連携強化に向けて、「交流する機会等の創出」を提案します。

○活動参加へのきっかけ作りにあたっては、これまで参加していない人が活動に参加しやすいように、市民活動団体同士が連携し、横のつながりをつくることで、それぞれの活動を発展させ、更なるコミュニティの活性化につながることを考えられます。

○横のつながりの関係を持つためには、団体が単にイベント等に参加するだけでなく、交流する機会等も設けていく必要があると考えます。

3 区民会議の課題解決への取組（提言から実践へ）

課題の解決に向けた取組の実践をめざし、区民会議の審議結果をまとめ、区長に報告します。

区長は審議結果を尊重して、●区民の自主的な取組 ●区民と行政の協働による取組 ●行政による取組 などを進め、課題の解決に努めます。

それぞれの役割と責任のもとで連携しながら、区民会議で提案された取組を地域で実践します。

暮らしやすい地域社会へ

— 第6期区民会議報告書に寄せて 麻生区長 多田貴栄 —

2つの部会で調査審議をいただいた「ふるさと麻生づくり～愛着と誇りの醸成～」と「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」というテーマについては、麻生区のみならず、全国すべての自治体が直面しており、重要度の高い課題と考えています。

この提言を、区役所としてしっかりと受け止めていただき、区内で活動する団体など連携しながら検討を進めてまいります。

なお、提言を進めるにあたっては、行政だけでは難しく、区民との協働が必要になりますので、まずは、多くの区民の皆さまに今回の区民会議の取り組みについて知っていただくことが何よりも重要だと思っております。

川崎市では、今後のコミュニケーション施策について検討を進めており、区民会議は、今回の第6期をもつて一旦休止となります。

また、地域包括ケアシステムの構築や地域防災の推進を最重要施策として位置づけ、市民サービスの最前線である区役所を中心として、全庁一丸となって取り組んでおりますが、こうした施策の実現には、土台となる地域づくりが必要です。

麻生区としても、地域での様々な課題の解決に向けて、多様な主体の連携により、市民自らが課題解決する新たなしくみについて、区民の皆さまと議論を重ねながら検討を進めてまいります。

最後に、2年間にわたり活発な調査審議をいただいた区民会議委員の皆さま、ご助言をいただいた参与の皆さま、また、区民会議を暖かく見守っていただいた区民の皆さまに、区を代表して心から感謝を申し上げます。2年間本当にありがとうございました。

第6期麻生区区民会議報告書（提言概要版）

区民会議事務局 [麻生区役所企画課] 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1

電話：044-965-5112 FAX：044-965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp

第6期区民会議 キックオフ

委員長に植木氏



第1回全体会議の様子

行政と区民が協働で、地域の課題解決に向けた取り組みを審議し、区に提言する第6期麻生区区民会議が開始した。1日には、第1回全体会議が開かれ、委員長や副委員長の選出、運営などについて話し合われた。

第6期区民会議の委員長には、「認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター」の理事長でもある植木昌昭氏が選出された。同法人での「麻生市民交流館やまゆり」運営などの活動、第3期・第5期にも区民会議委員を務めた経験から選ばれた。副委員長は市民自治分野で区町会連合会推薦の高橋慶子氏と、林恵美氏

(公募)に決まった。同区民会議は9月中旬から10月上旬に課題の抽出、11月の第2回全体会議で課題を決める予定だ。植木委員長は「5期目までの10年間検討してきたことを検証し、『誰が』『何処で』という視点を大切にしたい」としている。北沢仁美麻生区長は「これまでも多岐の分野で議論いただき、先進的・モデル的な取り組みにつないでいただいている。第6期でもよりよい地域づくり、まちづくりのための取り組みになることを期待している」と話した。そのほかの委員は次の通り(カッコ内は選出分野/推薦団体等)。

▽安藤和彦氏(産業振興分野/セレサ川崎農業協同組合)▽池松勝年氏(公募)

▽石井よし子氏(緑・環境分野/里山フォーラム in 麻生)▽緒方保氏(防災・防犯分野/交通安全対策協議会)▽海崎眞氏(公募)▽佐藤昇平氏(教育、子育て分野/区青少年指導員

会)▽佐野幸子氏(福祉・健康分野/区社会福祉協議会)▽菅野明氏(文化、観光分野/区長推薦)▽鈴木昭弘氏(地域特性「地域資源活用」/区長推薦)▽鈴木源活用/区長推薦)▽鈴木木隆広氏(地域特性「6人

学連携」/区長推薦)▽関根秀勝(地域特性「健康づくり」/区長推薦)▽高倉秀敏氏(市民活動団体/区長推薦)▽長岡さや氏(地域特性「芸術」/区長推薦)▽橋本周氏(文化、観光分

野/区文化協会)、松田基久乃氏(地域特性「教育・女性活躍」/区長推薦)、

松田通氏(公募)、吉垣君子氏(地域特性「児童・地域福祉」/区長推薦)

タウンニュース No.576
2017年(平成29年)9月



第6期区民会議の様子

川崎市

区民会議 休止へ

第6期後に在り方再検討

区民が主体となり、まちの課題解決に向けて検討する「区民会議」が来年度、休止することがわかった。休止する理由は、現在活動中の第6期委員が任期満了する来年3月と6月(麻生区は6月)、川崎市はその後活動の総括を行い、19年3月ま

で再開が休止を含めて方針をまとめる予定だ。区民が行政とともに地域課題の解決を目指すことをテーマに06年から各区でスタートした区民会議。委員は推薦や公募で集まった約20人。1期2年で委員に就任し、防災や防犯、地域コミュニティ構築などの課題について調査審議を行ってきた。解決策をまとめて、期ごとに区長に審議結果や対策案を提出する。一方で会議の認知度や、案の実践、解決のための継続的な取り組みが課題とされた。

これを受けて川崎市は区役所改革の一環で、昨年6月に「川崎市共に支え合う地域づくり検討委員会」を発足。区民会議だけでなく、まちづくり推進組織や地域包括ケアシステムの構築もふまえて調査審議。今年3月にまとめた報告書内で、市民が主体となるこれらの組織について「今後、必ずしも既存の区民会議の枠組みを前提とせず(中略)新たなしくみを検討することが必要」と提言していた。

麻生区区民会議はこれまで、子育てフェスタや地域人材育成連絡会議の活性化など、区に対し提案した内容が実現に至るなど、一定の成果を上げてきた。今回の休止については今後開催される区民会議の部会などで発表される模様。第2期と5期の委員で、現在の6期区民会議では委員長を務める植木昌昭さんは「麻生については5期10年で提案できたことややり残したことなどを総括したうえで6期目がスタートしている。個人の意見としては、より良い仕組みで話し合いなどの場が出来るのであれば、もちろん知恵を絞っていきたいし、行政にもお願

したい」と話した。

麻生では一定の成果も

第6期麻生区区民会議報告書

(平成30年6月)

発行：麻生区区民会議

事務局：麻生区役所まちづくり推進部企画課

〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1

電話：044-965-5112 F A X：044-965-5200

E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp

